

21世紀のための友情計画
(青年招へい事業)
昭和61年度実施報告書

昭和62年 3 月

国際協力事業団

青 業

J R

87 - 1

21世紀のための友情計画
(青年招へい事業)
昭和61年度実施報告書

JICA LIBRARY



1058308[6]

昭和62年 3月

国際協力事業団

国際協力事業団

受入 月日	'87. 6. 8	100
登録 No.	16534	36
		TAY

はじめに

この報告書は、国際協力事業団が昭和59年度より開始した「21世紀のための友情計画」（青年招へい事業）の昭和61年度分事業実施記録（内部資料）として取りまとめたものである。あくまでも事業実施の改善を目的としていることから、評価数値も厳しいところで線引きをしていることを、お断り申し上げておきたい。

本報告書が関係各位の本事業に対する御理解を一層深め、ひいては事業の改善発展に資するならば幸いである。

昭和62年 3月

研 修 事 業 部 長
岡 部 和 夫

目 次

はじめに

1. 総括報告	1
2. 基本計画	4
(1) 目 的	4
(2) 実施方法	4
(ア) 招へい方法	4
(イ) 招へい対象者	4
(ウ) 招へい形態	4
(エ) 招へい時期	4
(オ) プログラム概要	5
(カ) 標準プログラム	6
(キ) 実施体制	8
(ク) 実施運営分担	9
3. 受入状況	10
(1) 受入実績	10
(2) 協力団体	10
(3) 招へい青年の概要	10
(4) 地方プログラムの実施状況	11
4. プログラム実施状況	12
(1) 現地プログラム	12
(2) 共通プログラム	12
(3) 分野別プログラム	12
(4) 視察・旅行プログラム	13
5. 評 価 (アンケート結果より)	14
(1) 全 体	14
(2) 国 別	14
(ア) ブルネイ	14

(イ) インドネシア	14
(ウ) マレーシア	14
(エ) フィリピン	14
(オ) シンガポール	14
(カ) タイ	15
(キ) アセアン混成グループ	15
(ク) ビルマ, PNG, フィジー	15
6. 本文参照資料一覧	16
(1) 受入実績表	16
(2) 実施協力団体一覧表	18
(3) 招へい青年の内訳	19
(4) 地方分野別プログラム実施県一覧表(地図)	23
(5) 地方分野別プログラム実施県一覧表(支部別)	24
(6) 地方分野別プログラム実施県一覧表(団体別)	26
(7) 重点目標と実施状況	28
(8) 招へい青年の要望	29
(9) 招へい青年アンケート来日時(不安度, 期待度)	34
(10) 招へい青年アンケート帰国時(満足度)	44
(11) 合宿セミナー参加日本青年アンケート	50

1. 総括報告

(1) 計画概要

本計画は21世紀に向けてアセアン諸国との人的交流を拡大し、友好と協力の関係をより強固にするため、昭和59年度よりアセアン青年を各国から毎年150名、5ヶ年間に3,750名を日本へ招へいし、日本の同世代の青年との交流を通じ、相互理解を深め友情と信頼を培うことを主要な目的として開始された。その後、昭和59年1月、ブルネイが独立、アセアンに加盟し、ブルネイも本事業対象となった。(59年度はアセアン混成のみの5名を受け入れた。)昭和60年度よりブルネイ枠は30名に拡大した。

(2) 昭和61年度年間受入実績

昭和61年度はブルネイ枠を50名に増やし、又、新規にフィジー10名、PNG10名、ビルマ10名を加えて総計830名の受け入れを予定した。その内ブルネイの1名(業務上の理由で不参加)を除き829名を受入れた。

(3) 実施状況

(ア) 都内、及び近郊で日本についてのオリエンテーションを受けた後に青年達はそれぞれ北海道から沖縄までの34の道府県を訪問し、分野別の研修を受けるとともに、昨年度よりさらに充実した日本青年との合宿セミナー、ホームステイ等に参加した。

(イ) 日本人の生活を体験的に知るために極めて有意義であるとアセアン青年に評価されたホームステイを2泊3日～3泊4日で完全実施した。

(ウ) 第5陣については、総理官邸に招かれ、直接総理より励ましの言葉をいただいた。

(エ) 過去2年間の実績に対する反響もあり、地方の受入れにあたって、地方協力団体及び各道府県で、例年よりも積極的な受入れ姿勢が見られた。

(4) 調査団派遣

下記の日程で評価調査団3チーム、事前調査団1チーム(韓国)をすでに派遣している。

(ア) タイ、インドネシア(1月29日～2月7日)

飯島JICA研修事業部次長を団長に、外務省技術協力課加藤事務官、実施協力団体から日本国際生活体験協会松丸次長、中村青年招へい業務室長代理を団員として実施した。

(イ) フィジー、PNG、シンガポール(2月9日～2月21日)

伊藤青年招へい業務室長を団長に、実施協力団体から青少年育成国民会議上村事務局長(青年招へい事業実行連絡調整委員会委員長)、外務省青山事務官、青年招へい事務室の篠崎を団員として実施した。

(ウ) マレーシア、ブルネイ、フィリピン(3月4日～3月15日)

岡部JICA研修事業部長を団長に、外務省平川事務官、実施協力団体から国際交流サービス協会吉田常務理事、青年招へい業務室の熊野を団員として実施した。

(エ) 韓国（2月17日～2月20日）

岡部JICA研修事業部長を団長に、外務省大島技術協力課長、実施協力団体から中央青少年団体連絡協議会小久保委員長、中村青年招へい業務室長代理を団員として実施した。

(5) 評 価

(ア) 招へい青年に来日時と帰国時に2回アンケート調査を実施しているが、プログラム全体に関し極めて有意義と評価されている。本年度は参加日本青年のアセアン諸国、ビルマ、太平洋諸国に関する認識を深めさせ、招へい青年との交流をより一層充実させるため、事前オリエンテーションの強化を行なった結果、青年間の交流が深まり実りあるものとなっている。尚、本邦でのプログラム終了後のアンケート結果では、招へい青年の満足度は95%を超えている。

(イ) 相手国政府は、日本青年との組織的な交流計画として本事業を高く評価しており、他の先進国との間ではこのような規模での類似計画はないため、招へい人数の増加、事業の継続を強く望んでいる。また、本事業が単なる交流だけではなく、専門分野の研修的要素を加味している点についても強い期待を寄せており、今後なお一層分野別プログラムの内容充実に工夫をこらす余地があろう。また現在、本事業は日本への招へいのみが実施されているが、各国政府とも日本青年の派遣を強く望んでおり、相互交流が強化されるよう考慮する必要がある。

(ウ) 本事業においては日本青年との合宿セミナー、ホームステイ等を通して、日本人と親しく交流する機会があり、招へい青年が日本人理解をするとともに日本青年の異文化との接触の機会ともなっており、日本青年の受けるインパクトは非常に大きいものがある。また、地方で実施されるプログラムは地方での国際交流に対し貢献しており、各県とも積極的に受入れの意向を示しているのもその現れである。

(6) 今後の課題

(ア) 分野別プログラムに対するアセアン青年の期待が大きく、国別、専門によって選好が異なることに鑑み、グループの特徴を捉えた訪問先、見学先の選定が必要である。

(イ) 日本青年の質の向上と交流の機会の増大を招へい青年に切望されているところ、日本青年の事前オリエンテーションをさらに徹底し、交流の質の改善を図るとともに、日本青年参加費予算枠を拡大し、日本青年の募集方法を再検討する必要がある。

(ウ) 本事業は、英語のみならずタイ語、マレイ語、インドネシア語などで対応していることもあり、現地語のできる質の高いコーディネーター、通訳を確保する必要がある。

(エ) 62年度新規受入予定の中国、韓国については過去の歴史的関係を考慮し細心の配慮をもって計画する必要がある。

(7) その他

(ア) ASEAN各国で本事業参加経験者の間で同窓会設立の気運が高まり、シンガポール、インドネシア、マレーシア、フィリピンで同窓会が設立された。

(イ) 本事業の主旨はアジア・太平洋の青年に対し日本をよりよく理解してもらうことであるが、過去3年間の副産物としての波及効果も大きく、従来、日本で比較的関心の薄かったアジア・太平洋に対する関心を育てた。

(ウ) 地方では、招へい青年の受け入れに非常に熱心になってきており、地方の国際化にも充分役立ってきている。

(エ) カウンターパートである日本青年が、ASEAN諸国を訪問し、来日した青年達と再会するなど、21世紀へ向けてさらなる友好と協力の芽を育てつつある。

2. 基本計画

(1) 招へい計画の目的

21世紀に向けて、日本とアジア・太平洋諸国との友好と協力の関係をより強固かつ実りあるものとするため、未来の国造りを担う各国の青年を我が国に招へいし、日本の同世代の青年との交流を通じ、相互理解を深め、真の友情と信頼を培うことを目的とする。

(2) 実施方法

(ア) 招へい人数

ASEAN 諸国については、1ヶ国より150名（ブルネイは50名）、ビルマ、P. N. G、フィジーについては1ヶ国10名の合計830名を招へいする。

(イ) 招へい対象者

下記分野における指導的立場にある青年男女（18～35才前後を目安とする）

- ① 農村青年 農業従事者、農業団体職員、農業関係公務員
- ② 都市勤労青年 企業等勤労者、公務員、ジャーナリスト
- ③ 教員 各種教育機関の教員、教育関係公務員
- ④ 学生 大学生、大学院生、各種学校等の学生
- ⑤ 青年指導者 青少年活動者及び関係者、スポーツ、文化、社会奉仕団体等関係者
- ⑥ 公務員 他の分野に該当しない一般公務員

(ウ) 招へい形態

- ① 国別、分野別によるグループとして受入れる。
- ② 上記の他、ASEAN 各国の青年による混成グループを年間2回受入れる。

(エ) 招へい期間及び時期

- ① 招へい期間は約1ヶ月。出発前、数日間の現地プログラムを実施する。
- ② 受入時期は、5月中旬～11月中旬。

(オ) プログラム概要

教 日 間	現 地 プ ロ グ ラ ム (ビルマ, PNG・フィジーを除く)	現地講師による日本についての講義 経済技術協力の現場及び日系企業の視察 日本語の日常会話の学習 渡航に係る説明	
	来 日		
約 一 ヶ 月 間	共 通 プ ロ グ ラ ム	日本の全体像につき正確な理解を促進するための講義及び施設見学	
	分 野 別 プ ロ グ ラ ム	都内分野別プログラム	各分野の全体像につき正確な理解を促進するための講義及び施設見学
		合宿セミナープログラム	日本の同世代同分野の青年と寝食を共にする, 意見交換, 交流の場
		地方分野別プログラム	地方における関連施設の視察, 討論体験, 交流等のプログラムの展開
		ホームステイプログラム	日本の家庭生活の体験
	視 察 旅 行	京都, 広島の市内見学	
	評 価 プ ロ グ ラ ム	滞日成果につき意見交換	
	帰 国		
		ア フ タ ー ケ ア ー	事業効果を持続するための各種の施策

(カ) 青年招へい事業標準プログラム
(アセアン青年分)

		日	曜	実 施 内 容	宿 泊
現地プログラム				各国首都集合 結団式、現地講師による講義、日本語の日常会話の学習 現地講師による講義、日本語の日常会話の学習 経済技術協力及び日系企業現場視察 渡航に係るブリーフィング	現地のホテル
共通プログラム		1	日	来 日	都内のホテル
		2	月	日本滞在に係る諸手続 開講式 歓迎式 生活ガイダンス JICA概要	"
		3	火	講義(日本の社会と風土) 講義(日本の歴史と文化) 日本語学習	"
		4	水	筑波科学万博又は都内近郊諸施設見学	"
		5	木	講義(日本の産業史) 講義(日本の経済) 武道鑑賞	"
		6	金	講義(日本とアセアン) 表敬訪問及び都内視察	"
分野別プログラム	都内	7	土	分野別プログラムについてのブリーフィング	"
		8	日	日本青年との交流	"
	近郊	9	月	都内分野別プログラム(関係省庁訪問)	"
		10	火	都内分野別プログラム(関連施設視察及び討論等)	"
		11	水	合宿セミナーのための移動日	合宿施設
		12	木	合宿セミナー(基調講演 意見交換 スポーツ レクリエーション等)	"
		13	金	合宿セミナー(基調講演 意見交換 スポーツ レクリエーション等)交流の夕べ	"
		14	土	地方分野別プログラムのための移動日	地方のホテル
		15	日	地方都市見学等	"
		16	月	地方分野別プログラム(関係地方自治体等訪問) 知事歓迎会	"
		17	火	地方分野別プログラム(関連施設視察及び討論 交流等)	"
		18	水	地方分野別プログラム(関連施設視察及び討論 交流等)	"
	19	木	地方分野別プログラム(関連施設視察及び討論 交流等)	"	
	地方	20	金	ホームステイ	ホスト家庭
21		土	ホームステイ	"	
22		日	ホームステイ 交流の夕べ	地方のホテル	
23		月	地方視察旅行(京都)	京都のホテル	
視察旅行	24	火	地方視察旅行(京都)	"	
	25	水	地方視察旅行(広島)	広島のホテル	
	26	木	地方視察旅行(広島)	"	
	27	金	東京に集合	都内のホテル	
帰国準備	28	土	帰国準備	"	
	29	日	帰国準備	"	
	30	月	評価会 帰国についての説明・諸手続 歓迎会	"	
	31	火	帰 国	"	

(ビルマ、太平洋青年分)

		日 曜	実 施 内 容	宿 泊
共通 プログラム		1 日	米日 プリーフィング	"
		2 月	開講式 歓迎会 日本滞在に係る諸手続 生活ガイダンス JICA概要説明	"
		3 火	基幹産業視察	"
		4 水	都内見学 武道館賞及び交歓会	"
		5 木	講義(日本の社会と風土) 日本語の学習 講義(日本の歴史と文化)	"
		6 金	講義(日本の経済) 日本語の学習 講義(日本の産業技術発展史)	"
分野別 プログラム	都内・ 近郊	7 土	分野別プログラムについてのプリーフィング	"
		8 日	自由行動	"
	地 方	9 月	都内分野別プログラム(関係省庁訪問)	"
		10 火	都内分野別プログラム(関連施設視察及び討論等)	"
		11 水	合宿セミナー(基調講演 意見交換 スポーツ レクリエーション等) 交流の夕べ	合宿施設
		12 木	合宿セミナー(基調講演 意見交換 スポーツ レクリエーション等)	"
		13 金	地方分野別プログラム(関係自治体等訪問) 知事等歓迎会	地方のホテル
		14 土	ホームステイ	ホスト家庭
		15 日	ホームステイ	"
		16 月	地方分野別プログラム(関連施設視察及び討論等)	地方のホテル
17 火	地方分野別プログラム(関連施設視察及び討論等)	"		
18 水	地方分野別プログラム(関連施設視察及び討論等)	"		
19 木	地方分野別プログラム(関連施設視察及び討論等) 交流の夕べ	"		
視察 旅行	20 金	視察旅行(京都等)	京都等のホテル	
	21 土	視察旅行(京都等)	"	
	22 日	視察旅行(広島)	広島のホテル	
	23 月	視察旅行(広島)	"	
帰国 準備	24 火	東京へ移動	都内のホテル	
	25 水	帰国準備	"	
	26 木	評価会 帰国に関する説明・諸手続 送会	"	
	27 金	帰国	"	

(キ) プログラム実施体制

本計画を円滑に実施するため次の二委員会を設置する。

① 関係省庁調整連絡会議（運営委員会）

a 任 務 本計画の実施及び運営全般につき協議。

b 構成メンバー

外務省経済協力局技術協力課

アジア局地域政策課

情報文化部文化第二課

総務庁青少年対策本部

文部省学術国際局国際教育文化課

農林水産省経済局国際協力課

労働省労働基準局賃金福祉部勤労青少年室

自治省大臣官房企画課

国際協力事業団

② 実行連絡調整委員会

a 任 務 実行計画の運営，分野別プログラムの実施及び各プログラム間の連携につき協議し，プログラム実施上の問題につき，国際協力事業団に対し助言。

b 構成メンバー 関係省庁調整連絡会議に於いて各省等より推薦された民間諸団体。

(社) 中央青少年育成国民会議

(社) 中央青少年団体連絡協議会

(財) 世界青少年交流協会

(社) 日本国際生活体験協会

(社) 全国農村青少年教育振興会

(社) 日本経済青少年協議会

(社) 勤労厚生協会

(財) ユースワーカー能力開発協会

(社) 国際交流サービス協会

(財) 国際協力サービスセンター

(社) 青年海外協力協会

(ク) アセアン青年招へい事業実施運営分担

	プログラム監理	プログラム実施		食事・宿舎の手配
		連絡調整	実 施	
現 地 プログラム	国際協力事業団	国際協力事業団	各国実施機関 (国際協力事業団) 海外事務所	各国実施機関 (国際協力事業団) 海外事務所
共 通 プログラム (都 内)			国際協力事業団	国際協力事業団
都内分野別 プログラム (都 内)		実施協力団体	実施協力団体	実施協力団体
合宿セミナー プログラム (東京近郊)				実施協力団体
地方分野別 プログラム				地方青少年団体 (国際協力事業団) 国内支部
視察旅行 (広島, 京都)		国際協力事業団	国際協力事業団	国際協力事業団
評 価 プログラム (都 内)				

- (注) 1. 視察旅行は実施協力団体が行う場合もある。
2. 実施協力団体は実行連絡調整委員会の構成メンバー。

3. 受入状況

1. 受入実績

アセアン青年分は受け入れ計画830名に対し、829名を受け入れた。ブルネイの1名が業務上の理由で来日中止となった他は完全実施となった。また、本年度新規受け入れとなったビルマ、PNG、フィジーについては各国10名づつ30名の受け入れを完全実施した。(受入実績表) P. 16

2. 協力団体

実行連絡調整委員会を構成する11の中央実施協力団体の真摯なる協力を得、また、地方に於いては、道、県、市、地方青年団体の誠意と親切に満ちた協力を頂いた。アジア・太平洋からの参加青年並びに各国政府より、本事業が高く評価され感謝を寄せられている理由の多くは、これら協力団体の努力によるところが大であった。(実施協力団体一覧表) P. 18

3. 招へい青年の概要

(1) 年齢

829名の平均年齢は26.9歳。

- a 国別 新規のビルマ、PNG、フィジーが高く平均30歳を越えている。低い方はタイで23.7歳、フィリピンが25.8歳となっている。
- b 分野別では、アセアン混成(31.0歳)、公務員(29.5歳)グループが高く、学生農村青年グループが低い。
- c グループ別ではブルネイの青年指導者、ビルマの青年指導者が高くなっている。職業別では学生が一番若く職業のある青年と無い青年の差が顕著である。

(2) 性別

全体で女性の割合が38%男性が62%である。フィリピン、ビルマ、フィジーの割合が高く、イスラム圏のインドネシア、マレーシアの割合が低くなっている。女性の参加人数にも文化的特性が表れている。

(3) 職種

全体の38.8%が公務員であった。これは第1年目と同様にアジア・太平洋諸国の「21世紀を担う青年」の核が公務員であるという認識に基づいていると思われる。

国別で見るとマレーシア(62%)、シンガポール(57%)の公務員の割合が大きく、タイ(45%)、フィリピン(21%)が小さかった。また、全般的に公務員の割合は昨年度と比較して下がってきている。

(4) 学歴

- a 招へい青年全体の63.6%が大学在学中もしくは大学卒業以上であった。

※63.6%という数字は昨年度の83%と比較すると低くなっているが、母国語対応という本事業の特性により、中央の学卒者だけではなく、地方で活躍している青年指導者、農村青年に窓を開いたものであり、この開かれた事業性格が理解されてきたものと思われる。

- b 性別区分では女性が高い学歴となっている。(大学在学中、もしくは卒業者の割合は、男性59%、女性72%であった。)
- c 国別ではフィリピンの学歴が高い。
- d 分野別では公務員、学生、教員グループの学歴が高くなっている。(招へい青年の内訳) P. 19

4. 地方プログラムの実施

34の道府県に於いて37グループの地方プログラムが実施された。2グループが訪問した地域は北海道、島根、愛知の3地方である。

(地方分野別プログラム実施県一覧表・地図) P. 23

(地方分野別プログラム実施県一覧表・支部別) P. 24

(地方分野別プログラム実施県一覧表・団体別) P. 26

4. 実 施 状 況

現地プログラムを除き前年度までの青年の意見、相手国政府の窓口の要望を十分鑑み、本年度の重点目標を立てて実施した。(重点目標と実施状況) P. 28

(1) 現地プログラム

現地プログラムはASEAN各国政府のイニシアティブにより現地の講師による日本の事情・日本との関係の講義を行うなどにより日本理解をすすめるものであり、各国政府はこの点を十分理解し、極めて有効な利用の仕方をしている。

ASEAN以外の国については現地プログラムは実施しなかった。

尚、具体的な進め方については各国、各様である。(現地プログラム別冊資料)

(2) 共通プログラム

講義については、早稲田大学の全面的な協力のもとに、延べ95名の教授陣が19回にわたり日本の「社会と文化」、「経済」、「歴史」、「産業発展史」、「アセアンと日本」等、日本を理解させるための講義を行った。充実した講義内容でアンケートでは招へい青年の約95%が有意義と答えている。

日本語学習は、現地プログラムで行われ学習と連携させて一貫性のあるものとし、かつ、より実践的なものとしたことで、97%が評価している。

先端企業見学では、日本鋼管鶴岡製鉄所及び東芝科学館を半日ずつ見学させ好評を得た。

武道紹介については、日本武道館及び日本武道協会、並びに学生武道クラブの協力を受け、約200名の武道家が日本武道の紹介に当たった。特に招へい青年を参加させて行う体験演舞は好評であった。また、昨年度から演舞終了後交歓会を開催し、武道関係青年等との交流を深めた。

(3) 分野別プログラム

本年度は過去2年間収集したデータを元に国別・分野別グループの選好・特性を考慮し、招へい青年の意向に添うようなプログラム作成に努力した。その結果、食事、視察先、交流面での改善を見せ、アンケート結果による満足度はほとんどの調査項目で95%を越え、昨年度を上回る結果となった。

また、昨年度までにみられた地方と中央のプログラム内容の重複は殆どなくなり、この点で大きな改善を見せた。

しかしながら、実施体制の構造的な複雑さに由来するものもあるが、地方でのプログラム実施の際、本プログラムの主旨が十分徹底していないこともみられ、地方との連絡調整が今後も重要な課題となっている。

東京近郊にて専門分野での関連施設訪問、交流を行っているが地方ではホームステイ、県庁訪問などを実施している。全般に東京での慌ただしい生活よりは地方での生活に息抜きを感じているようで

ある。残念ながら地方では専門分野での要求を満たす施設、もしくは関係者が少なく、“さらに専門分野での交流を”という要望とのギャップが今後の課題として挙げられる。(国内プログラム－別冊資料)

(4) 視察旅行プログラム

過去2年間と同じく京都・広島が中心であるが、京都の仏教的色彩の強さを嫌うイスラム圏に配慮して、イスラム圏（特にマレーシア）については神社仏閣を避けるようにした。また、京都だけでなく大阪の工場視察を含める等、近畿圏全体を視察旅行の範囲とした。(国内プログラム－別冊資料)

5. 評 価 (アンケート結果より)

招へい青年に対し、来日時と帰国時の2回アンケート調査を実施し、事業実施効果測定の参考にした。この種の事業はともすると定型化しがちであるとの観点から、企画当初より測定方法の検討が行われ、在日留学生対日イメージ調査の実績のある慶応大学新聞学科岩男教授の指導のもとに、アンケート調査表を作成して実施した。

本年度のアンケートの取り方はプログラム改善に役に立つよう、プログラムに密接なものを重視した。

さらに、招へい青年からの生の声を聞く意味で評価会を帰国直前に実施しており、アンケート結果を参考するとともに、よりよいプログラムを作成するための資料としている。評価会での内容は「非常に満足しているものの集団行動でできなかったが可能であれば」という条件つきで個人的要望が延べられている。(招へい青年の要望) P. 29 (アンケート) P. 50

(1) 全 体

日本青年との交流、ディスカッション、ホームステイ、広島・京都視察等、交流・視察関係の評価が高く、講義に関しては低くなっている。このことは、通訳が入るなどの言葉の問題があるのも理由のひとつであるが、強い印象や物事の深い理解には、講義等による間接的な体験よりも、直接に自分で見聞、体験することの重要性を象徴している。

(2) 国 別

(ア) ブルネイ

視察が共通プログラム、分野別プログラムも満足度は100%である。その理由として視察先の選定の良さと視察方法の良さが挙げられるだろう。

(イ) インドネシア

ほとんどの項目で標準以上の満足度を示しており、その理由として、インドネシア青年の文化的柔軟さが挙げられるだろう。

尚、同じイスラム圏でも、インドネシア青年に関して言えば、仏教的色彩がある京都でも宗教的拒否感は感じられない。

(ウ) マレーシア

講義関係の点数が低いのはマレー語の通訳の問題が大きいと思われる。この分野での通訳は非常に少なく今後の改善策を練る必要があると思われる。

また、イスラム圏の特色で京都等、他宗教(仏教)の色彩の強い都市を好まない傾向がある。

(エ) フィリピン

他の国の青年と比較すると、一般に陽気で講義よりは現場での視察・交流の評価が高い。

(オ) シンガポール

やはり、ほとんどの項目で標準以上の満足度を示している。これも、シンガポール青年の文化的柔軟さと英語ができる、漢字が読めることによる、行動半径の広さに理由があるかも知れない。

(カ) タイ

過去2年間、研修的指向が強く、各国と比較して評価の厳しいタイ青年であったが、本年度力を入れた国別対策で専門分野での研修が効し、評価が大いに改善した。

(キ) アセアン混成グループ

- a 講義についての満足度が若干低いようであるが、6カ国の要望がかなり異なること、及び英語で対応しているが（他のグループは母国語主義をとっている）、英語圏以外の国からの参加者では、一部には英語が不得意な者があったなど、コミュニケーションに基づく問題と思われる。
- b 日本青年とのディスカッションについては、合宿参加青年が自発的に参加したというよりは所属先からの命令できていたケースが多いため、交流に対する積極性に欠けていた。
- c 現地プログラムを全員が受講しない、他国のメンバーとは日本にきて初めて知り合う、各国のより集まりであるため文化的な差が表れるなどグループとしてのまとまりに欠き、運営面で難しい点が目立った。

(ク) ビルマ、PNG、フィジー

ビルマは本事業では初めての社会主義国からの参加で、かつ、外国との交流がきびしく規制されている状況が続いており、PNG、フィジーもアセアン諸国より更に日本人に馴染みのない国の人々であったため、当初、困難が予想されたが、無事終了し大いに満足して帰国した。来年の来日が期待される。

〈実施協力団体一覧表〉

昭和61年度青年招へい事業実施協力団体一覧表

加入期間	園名	分野名	人数	実施協力団体	実施県	地方関係団体
5月18日～6月17日 1 1 2 2 名	アイリビ " " " "	教員 A(理系) B(文系) A(理系) B(文系)	2 5 2 6 2 1 3 0 2 0	協会 協会 協会 協会 協会	長野 神奈川 茨城 宮城	教育青年海外青年 協会の友 会 会 会 会 会
5月30日～6月28日 2 4 5 名	シンガポール " "	教員	2 5 2 0	協会 協会	福岡	海外派遣の会
6月28日～7月28日 3 8 4 名	マレー " " " "	都市勤労青年 指導員(1)	2 0 2 0 2 2 2 2	協会 協会 協会 協会	栃木 徳島 山口 福岡	協会 協会 協会 協会
7月5日～8月5日 4 1 1 2 名	アセアン " " " "	公務員 公務員 公務員 公務員	3 0 1 9 1 0 2 3 3 0	協会 協会 協会 協会	秋田 新潟	調整会 調整会 調整会 調整会
8月24日～9月23日 5 2 2 3 名	アセアン " " " "	公務員 公務員 公務員 公務員	2 8 2 7 2 5 2 2 2 4 2 7 2 5 2 5	協会 協会 協会 協会 協会 協会 協会 協会	名古屋市	調整会 調整会 調整会 調整会 調整会 調整会 調整会 調整会
9月7日～10月7日 6 1 1 6 名	アイリビ " " " "	農村青年 指導員 指導員 指導員	2 0 2 6 1 0 3 0 3 0	協会 協会 協会 協会 協会	北海道 石川 岩手 青森	協会 協会 協会 協会 協会
10月12日～11月7日 7 3 0 名	ピル " " " "	青年 指導員 指導員 指導員	1 0 1 0 1 0 1 0	協会 協会 協会 協会	京都 高松	協会 協会 協会 協会
10月18日～11月18日 8 9 7 名	インド " " " "	教員 指導員 指導員 指導員	2 6 2 1 2 5 2 5	協会 協会 協会 協会	分島 鹿島	協会 協会 協会 協会

昭和61年度青年招へい事業招へい青年の内訳1 (年齢、性別)

国名	分野名	人数	年齢	男性		女性		女性の割合 (%)
				人数	年齢	人数	年齢	
ブルネイ	アセアン混成 公務員・学生 指導者	9	31.0	7	31.4	2	29.5	22
		10	33.4	10	33.4	0	-	0
		20	23.8	13	24.5	7	22.3	35
		10	34.0	7	36.4	3	28.3	30
	小計	49	29.1	37	30.5	12	25.0	24
インドネシア	アセアン混成 公務員・学生 指導者 農村青年 都市勤労青年	9	31.8	5	32.0	4	31.5	44
		19	31.1	13	31.8	6	29.5	32
		23	27.2	14	29.1	9	24.2	39
		27	25.7	23	26.0	4	24.5	15
		25	21.3	11	20.4	14	22.0	56
		26	26.9	12	29.0	14	25.0	54
	21	25.5	13	25.8	8	25.0	38	
小計	150	26.4	91	27.3	59	25.0	39	
マレーシア	アセアン混成 都市勤労青年 農村青年 農教学生指導者 公務員	10	30.7	8	30.3	2	32.5	20
		20	29.2	15	29.3	5	28.6	25
		20	29.6	18	29.5	2	30.5	10
		25	30.0	21	29.6	4	32.1	16
		25	23.7	19	24.3	6	21.8	24
		25	29.8	20	30.1	5	28.8	20
	25	30.5	19	30.1	6	31.7	24	
小計	150	28.9	120	28.9	30	28.7	20	
フィリピン	アセアン混成 教学生勤労青年 都市農村青年 指導者	10	30.5	4	31.0	6	30.2	60
		25	29.4	10	27.1	15	30.9	60
		47	21.9	22	21.7	25	22.0	53
		22	26.9	12	27.3	10	26.4	45
		20	27.2	12	27.7	8	26.5	40
	26	25.4	10	26.4	16	24.8	61	
小計	150	25.8	70	25.7	80	25.9	53	
シンガポール	アセアン混成 教学生勤労青年 指導者 公務員	10	28.1	5	27.6	5	28.6	50
		25	30.8	12	31.8	13	30.1	52
		20	23.4	11	24.0	9	22.6	45
		22	27.8	12	29.2	10	26.1	45
		46	27.5	23	28.6	23	26.4	50
	27	30.5	21	30.8	6	29.7	22	
小計	150	28.1	84	29.0	66	27.0	44	
タイ	アセアン混成 学生勤労青年 農村青年 指導者	10	28.3	4	29.5	6	27.5	60
		50	21.9	30	21.3	20	27.8	40
		30	24.7	25	24.6	5	25.2	17
		30	23.0	17	22.7	13	23.3	43
	30	25.0	15	24.0	15	26.1	50	
小計	150	23.7	91	23.3	59	24.4	39	
ビルマ	青年指導者	10	33.5	5	35.2	5	31.8	50
フィジー	公務員	10	31.4	5	33.8	5	29.0	50
P N G	教員	10	29.5	7	28.0	3	33.0	30
合計		829	26.9	510	27.4	319	26.1	38

昭和61年度青年招へい事業招へい青年の内訳2 (職種)

国名	分野名	人数	公務員	民間	記者	学生	教員	自営	その他		
ブルネイ	アセアン混成 公務員・学生 教育指導者	9 10 20 10	6 10 6	3 2		17	3 2				
	小計	49	22	5		17	5				
インドネシア	アセアン混成 公務員・学生 農村青年 市勤労青年	9 19 23 27 25 26 21	9 19 6 15 2	8 5 19	2 1	6 6 25	1 26				
	小計	150	51	32	3	37	27				
	マレーシア	アセアン混成 都市勤労青年 農村青年 市勤労青年 教育指導者 公務員	10 20 20 25 25 25 25	10 17 19 5	2	1 1	2 24	18 1 3	1		
		小計	150	93	4	4	26	22	1		
		フィリピン	アセアン混成 教学生勤労青年 都市農村青年 教育指導者	10 25 47 22 20 26	10 7 6 9	12 8 9	2 1	47 1 5	25 1 3 1	1 1	1
			小計	150	32	29	3	53	30	2	1
シンガポール			アセアン混成 教学生勤労青年 都市市勤労青年	10 25 20 22 46 27	10 2 16 46 12	6 15		15	23 5		
			小計	150	86	21		15	28		
	タイ		アセアン混成 学生勤労青年 都市農村青年 教育指導者	10 50 30 30 30	10 2 3 4 4	14 7	1 1	42 8 10	5 4 9	26	
			小計	150	23	21	2	60	18	26	
		青年指導者	10	4			4	2			
		公務員	10	10							
P N G	教員	10	1		2	7					
合計	(人) (%)	829 38.8	322 13.5	112 13.5	14 1.7	212 25.6	139 16.8	29 3.5	1 0.1		

昭和61年度青年招へい事業招へい青年の内訳3 (学歴1)

国名	分野名	人数	A	B	C	D	E	不明
ブルネイ	アセアン混成	9	1	5	1	2		
	アセアン混成	10			1	3	5	1
	アセアン混成	20		19	1			
	アセアン混成	10		1	4	3	1	1
	小計	49	1	25	7	8	6	2
インドネシア	アセアン混成	9	2	7				
	アセアン混成	19	2	10	1	6		
	アセアン混成	23	2	20		1		
	アセアン混成	27		16	1	10		
	アセアン混成	25		16	8			1
	アセアン混成	26	1	13	9	3		
	アセアン混成	21		3	9	8	1	
	小計	150	7	85	28	28	1	1
マレーシア	アセアン混成	10		9		1		
	アセアン混成	20		7		2		1
	アセアン混成	25		2	10	4		
	アセアン混成	25	5	8	14	4		2
	アセアン混成	25	1	20	4			
	アセアン混成	25	1	6	8	9	1	
	アセアン混成	25		10	3	12		
	小計	150	7	62	45	32	1	3
フィリピン	アセアン混成	10	1	7	2			
	アセアン混成	25	7	16	2			
	アセアン混成	47	19	28				
	アセアン混成	22	6	14	2			
	アセアン混成	20	4	14	1	1		
	アセアン混成	26	5	21				
	小計	150	42	100	7	1		
シンガポール	アセアン混成	10	4	5		1		
	アセアン混成	25	4	17	4			
	アセアン混成	20		5	14	1		
	アセアン混成	22		9	6	5	2	
	アセアン混成	46	8	38				2
	アセアン混成	27		6	8	11	2	
	小計	150	16	80	32	18	4	
タイ	アセアン混成	10	5	5				
	アセアン混成	50	7	40	3			
	アセアン混成	30		8	7	12	3	
	アセアン混成	30	1	20	5	4		
	アセアン混成	30		4	2	4	20	
	小計	150	13	77	17	20	23	
ビルマ	青年指導者	10	1	5	1	3		
フィジー	公務員	10	3	2	1	3	1	
P N G	教員	10		1	8	1		
合計	(人)	829	90	437	146	114	36	6
	(%)		10.9	52.7	17.6	13.8	4.3	0.7

A : 修士、博士課程終了又は教員養成中
 B : 大学卒業又は短大卒業
 C : 専門学校卒業
 D : 高等学校卒業
 E : 中卒

昭和61年度青年招へい事業招へい青年の内訳（学歴2）

男女別学歴・学歴別平均年齢

学 歴	性 別	人 数	平均年齢
不 明	男	6	33.7
A	女	46	28.2
A	男	44	
B	女	184	26.3
B	男	253	
C	女	51	27.0
C	男	95	
D	女	27	28.2
D	男	87	
E	女	11	25.4
E	男	25	

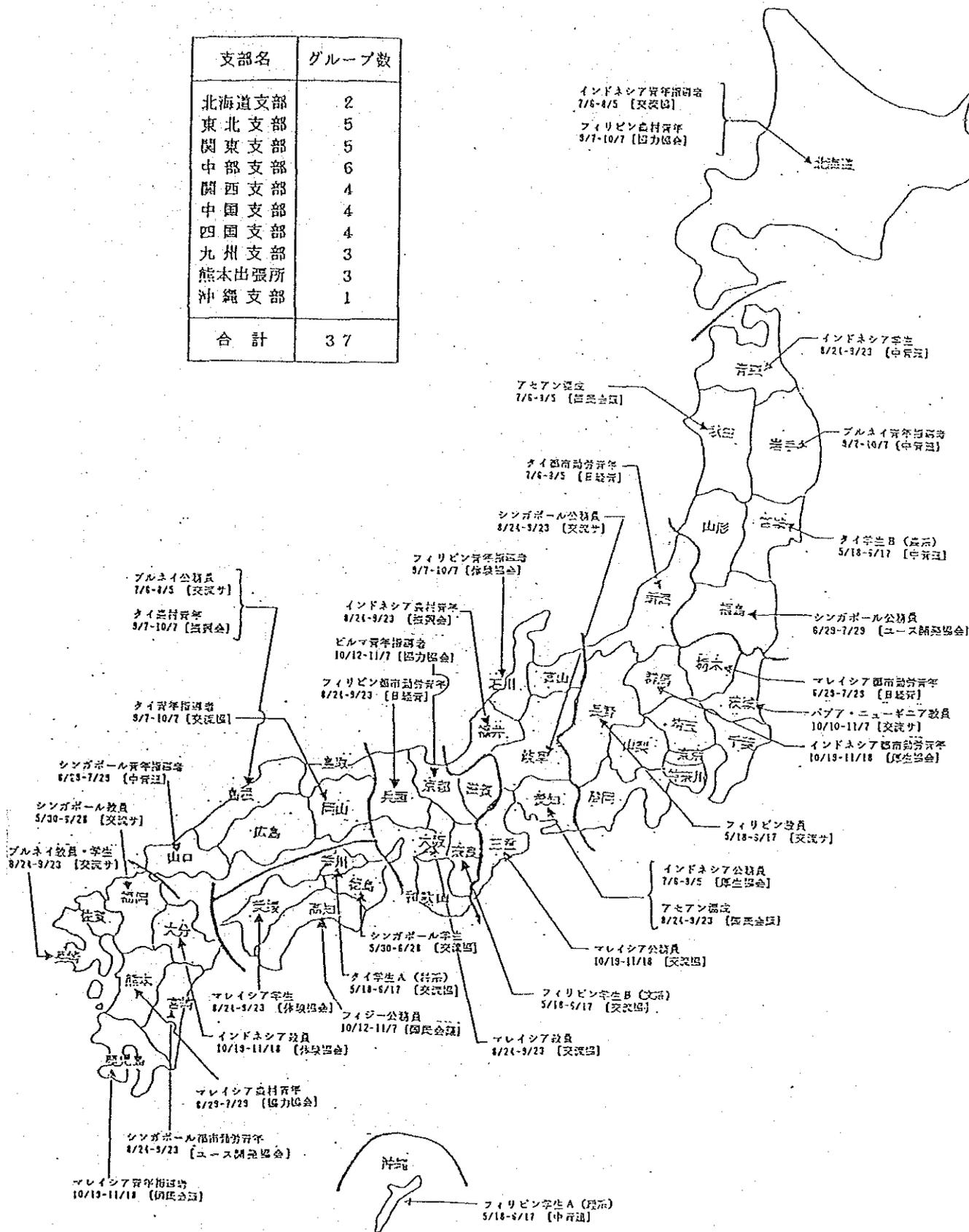
職別・平均年齢及び学歴

職	年 齢	人 数	大学在学・卒業者の割合
不 明	24.00	1	
公務員	29.72	322	64%
民 間	26.82	112	45%
記 者	28.08	12	50%
学 生	21.78	213	81%
教 員	29.20	137	66%
自 営	22.81	32	22%

- A：修士，博士課程終了又は在学中
- B：大学卒（学士），又は在学中
- C：専門学校，短大，教員養成大学卒又は在学中
- D：高卒又は在学中
- E：中卒

地方分野別プログラム実施県一覧表（地図）

支部名	グループ数
北海道支部	2
東北支部	5
関東支部	5
中部支部	6
関西支部	4
中国支部	4
四国支部	4
九州支部	3
熊本出張所	3
沖縄支部	1
合計	37



支部名	県名	59年度実施プログラム名	60年度実施プログラム名	61年度実施プログラム名
関西支部	滋賀	厚生協 OB会 体験協 交流協 日経青	インドネシア タイ フィリピン フィリピン タイ	27名(8期) 18名(7期) 24名(4期) 32名(6期) 38名(4期)
	京都	インドネシア フィリピン	都勢 農村 青指 学生	都勢 10名(7期) 都勢 30名(6期)
	兵庫	フィリピン	学生B	学生B 21名(1期) 教員 25名(6期)
中国支部	奈良	日経青	タイ	タイ 30名(6期)
	大阪 和歌山	シンガポール マレーシア	インドネシア シンガポール タイ タイ	青指 30名(6期) 公務 10名(4期) 農村 30名(6期) 青指 22名(3期)
四国支部	徳島	交流協	フィリピン タイ マレーシア	学生A 30名(1期) 学生 20名(2期)
	香川 徳島	交流協	タイ タイ マレーシア	学生 25名(5期) 公務 10名(7期)
九州支部	福岡	交流協	シンガポール マレーシア ブルネイ	教員 25名(8期) 教員 25名(2期) 教員 20名(5期)
	熊本 山鹿新	OB会 グループ	インドネシア シンガポール シンガポール	農村 20名(3期) 都勢 27名(5期) 青指 25名(8期)
沖縄支部	沖縄	OB会	ブルネイ	学生A 26名(1期)
	合計	748名 30グループ (タイ農村を2グループに分けた為)	778名 33グループ (5名のスポーツ選手を含む)	829名 37グループ (新規組3、ブルネイで1グループ増)

(注) 日経青 インドネシア 青指 24名(3期)
は長野、静岡県県で実施

実施協力団体別地方分野別プログラムの実施状況（団体別）

団体名／国名	アゼアン親戚	ブルネイ	インドネシア	マレーシア	フィリピン	シンガポール	タイ	ビルマ	フィジー	P N G
青少年育成国民会議	59 福島28									
	60 福島30 60 兵衛30			60青指 佐賀25						
	61 秋田30 61 愛知28			61青指鹿児島25					61公務 高知10	
中大青少年団体連絡協議会			59農村 山形28	59学生北海道20		59学生 青森12	59青指 宮城30			
		60青指 札幌10	60農村 山形24 60学生 熊本25			60青指鹿児島23	60学生北海道30			
		61青指 岩手10	61学生 青森25			61青指 山口22	61学生 宮城20			
			59学生 静岡20			59青指 石川22	59学生 香川38			
世界青少年交流協会			60青指 秋田24	60教員 大坂25 60公務 奈良18	60学生 香川28	60学生 石川20	60学生 山口20 60青指 徳島30			
			61青指北海道23	61教員 大坂25 61公務 三重25	61学生 奈良21	61学生 徳島20	61学生 香川30 61青指 岡山30			
				59教員 広島30	59学生 石川29 59青指 兵庫24					
			60教員 岡山21	60学生 徳島20	60青指 新潟25					
日本国更生団体協議会			61教員 大分26	61学生 愛媛25	61青指 石川26					
				59農村 群馬27	59農村 新潟20					
全国農村青少年教育協議会=1										
			61農村 福井27		60農村 長野21		60農村 栃木30 61農村 鳥取30			

団体名/国名	アセアン親戚	ブルネイ	インドネシア	マレーシア	フィリピン	シンガポール	タイ	ビルマ	フィジー	P N G
経済厚生協会			59補助 愛知22 59補助 滋賀27							
			80公務 愛知17 80補助 群馬28							
			81公務 愛知18 81補助 群馬21							
	日本経済青年協議会		59寄括 群馬24	59補助 長野18 59公務 群馬17	59補助 静岡20*2		59補助 大阪38			
ニューズワーカー 能力開発協会*3				80補助 茨城19	80補助 三重27		80補助 広島30			
				81補助 栃木20	81補助 兵庫22		81補助 新潟30			
						59補助 宮崎25				
						60補助 宮崎23				
国際交流サービス協会						81公務 福島22 81補助 宮崎27				
			59教員 栃木22			59教員 山梨30 59公務 長野28 59公務 高松27				
		80教学 福岡18			80教員 長野20	80教員 茨城21 80公務 大分24 80公務 鳥取24				
		81公務 鳥根10 81教学 長崎20			81教員 長野25	81教員 福岡25 81公務 岐阜24				81教員 茨城10
青年海外協力協会*4					59寄括 熊本30		59農村 京都18 81都20			
				80農村 新潟25	80学生 宮城19					
				81農村 熊本20	81農村北海道20			81寄括 京都10		

*1 59年度は同県県林交協力協会

*2 全国職業コミュニケーションアーダー協会が実施

*3 81年度に改名、それ以前は国際交流青少年グループワーク協会

*4 59年度は青年海外協力隊OB会

重点目標と実施状況

重点目標	実施状況
1 国内旅行訪問 先となる若者 公使員との意見交換を行う。	フリーフィッシングについては、概ね実施。若手公使員との意見交換は各府庁の都合により未実施。
2 大使館要談 共通プログラム中の金曜日の午後実施する。	大使館の予定がつかない場合を除き、共通プログラム中に完全実施。
3 日本留学 現地での学習に際しての側面援助のため、日本語会話テキストを改訂し、テープ付きで事前に送付する。	実施 * 共通プログラムで扱わずのものは不可。日本紹介の一環として日本の語学教育であり日本語が得意なものをめざしたものでない。もし各面で必要と考えられる場合は、現地プログラムで実施すべき。
4 お論テーマ、トピックプログラム中には通知し、各国からの討論テーマの提案も受け入れる。	概ね実施 * 現地プログラム以前は日本側参加青年の最終決定がされていたことが多く完全実施は難しい。
5 訪問先の概要 神社仏閣を含め、各訪問先の簡単な説明書を配布（各国語）する。 できれば、現地プログラム中に配布する。	実施 * 英文のあるものについては、タイ以外の青年は英語を解する青年が多いため、ペーパーフレットを使用。京都、広島、熊本、福岡、長崎、大分、高松、香川、徳島、愛媛、高知、佐賀、福岡、熊本、鹿児島、沖縄の各都府県で新たに作成。その他の国・地域のプログラムも現地語化を進めた。現地プログラム中の配布は不可能であった。
6 イスラム寺院参拝 回数健のみ、地方視察旅行からの協賛当日（金曜日）キヌク礼拝が可能になるようスケジュールを調整する。（礼拝は12時30分開始）	完全実施
7 研修的参事 プログラム、セッション、タイ、ビルマは研修的色彩を濃くしたプログラム、セッションの希望が強く、各々の当該分野の要員専攻も盛り込む。	特にタイについて重点的に実施 * 各国からの要員要員が事前に通知された例は稀であり、プログラム開始後青年達の要員を部分的に実施した。
8 交流の充実 各訪問先では、見学と同時に説明、意見交換の場を設け、交流の充実を図る。	説明については完全実施、意見交換は部分的に実施。
9 スポーツ交流 言葉の障壁を越えた、青年同志のスポーツを通じた交流の充実を図る。	概ね実施。
10 合宿参加日本人青年 事前オリエンテーションを更に充実させるとともに、当該分野に合った青年を集める。	* オリエンテーションについては若干改善された。過去2年間は本青年のオリエンテーション力を入れてきたが国家公務員レベルでも、討論に対する熱意、語学力に欠ける事が多く、合宿参加のための人材育成が必須。
11 週一、二回 タイ、マレーシアをはじめ英語力の低い青年も多く、通訳の備上を配慮する。	タイ青年には学生グループを除き3人のコーディネーターをつけた。その他、昨年度より多くの通訳をつけた。
12 料理を作る機会 合宿やホームステイで料理を作る機会を持たせる。	概ね実施。
13 ホームステイ 通訳のしなやかさを保つため、ホームファミリーとともに過ごす時間を充てる。	2泊3日～3泊4日のホームステイを実施。青年の延長延長大であることを鑑み若干の延長が望まれる。
14 地方視察旅行 従来の京都訪問は京都を含めた関西の中から旅行先を選ぶことにする。イスラムの場合、神社仏閣の見学は最低限におさえる。	パンフレットを作成し、京都、奈良訪問の意義を理解してもらい、同時に、神社仏閣の見学を減らしたことにより、イスラム教徒からの苦情はなかった。
15 食 イスラム禁制品が出ないよう注目を徹底する。	ホームステイの手引、ホテルへの挨拶により昨年度より改善されたがブルネイ、マレーシアの青年の一部にはイスラムフードに固執するものがある。

評議会での青年の要望

項目/題名	ブルネイ	インドネシア	マレーシア	フィリピン	シンガポール	タイ
現地プログラム	<ul style="list-style-type: none"> 2週間位にし、日本語学習を充実させてほしい 	<ul style="list-style-type: none"> 日本語学習時間が少ない 担当者や今の指導方法をどうしておられないか 参加者の年齢制限は厳守 支給する辞書はインドネシア語→日本語→英語でひける、もっと語彙の多いものをお願いします 日本の風俗、習慣についての講義 ジャカルタ以外の各地から広く参加者を募る 	<ul style="list-style-type: none"> 日本語学習時間が短い 出発の前日に実施 日本語学習用の辞書が必要 資料準備や土産を準備するための自由時間 入事院からの集合日等の連絡が遅い 入事院は入選にももう少し遅延 	<ul style="list-style-type: none"> 旅行に関する情報は少ない 入選の公正化 	<ul style="list-style-type: none"> 日本語学習時間の増 ホストの家族構成を知りたい(プレゼンテーションのため) 詳細なスケジュール説明 2~3週間は必要 	<ul style="list-style-type: none"> 詳細なスケジュール説明 日本語学習時間の増 バンコク以外の学生にも参加の機会を
共通プログラム ①講義	<ul style="list-style-type: none"> 講師は時間節約のため英語で、テキストの内容を教えず、講師の考えを中心とした講義 質疑応答時間が短すぎる 他国、特に異なった分野との講義は好ましくないのか 女性の講師はいないのか 講義はすべて英語で実施 	<ul style="list-style-type: none"> 講義資料と講義内容が違っていた 内容は現プロの内容と重複 日本語学習時間の増 講師に不満 インドネシアを知っている教授の講義が望ましい インドネシア人が日本について一般論に知っていることが繰返される 日本語学習はグループ別で 質疑応答時間が短い 	<ul style="list-style-type: none"> 日本語学習時間の増 現況は日本語を理解できる人 現況は現職した人 講師は講義内容に精通した人(アロクンクでも良い) 本を読むだけの講義は不要であり、講師の考えをききたい 質問に答えられない講師も多い 質疑応答時間が短い 講義内容と資料が一致しない 場所がある 文化及び日本人の生き方を説明するオーディエンスを用意する 講師が多すぎる 講師が3人位で講義をし、そのまま継続して行けば質疑応答のとき補充しあえる 	<ul style="list-style-type: none"> 講師は直接英語で講義 講義間で重複 質疑応答の時間が短い 1日中講義ではなく、見守と講義を交互に実施 オーディエンスがアクション形式で見られる 他国と同一講義を受ける場合は同分野のグループにしてほしい 講義内容がハンドアウトの域を出ない 分野別の専門講義も実施してほしい 	<ul style="list-style-type: none"> 講師は直接英語で講義 講義間で重複 (社会と風土、産業、経済の歴史的発展や発展) 日・シンの比較、分析を絡め込む 歴史的背景より現代社会の話題を中心に 質疑応答の時間が短い 日本語学習時間の増 講義時間が長い 時事問題にも言及してほしい 他大生等の講師も 政治、教育制度の講義 日本の将来展望、国際化、情報化への展望も 現在日本が直面している諸問題に重点をおいた講義 現況は実力のある人を、ディスタンス形式で実施 	<ul style="list-style-type: none"> 講義は対談中心で実施 講義間で重複 質疑応答の時間が短い 日本語学習の充実 タイ語を話す人から日本語を習いたい 講義は現プロと重複 医学より医学を 講義に関連した場所の見学 色々な分野の講師を 女性の講師がいらないのはおかしい 分野に合ったレベルで 分野別の講義の実施
②テキスト 見学先 その他	<ul style="list-style-type: none"> 専攻学科より自動車等の工場見学を入れてほしい 	<ul style="list-style-type: none"> 見学先での疑問や意見交換の時間が短い 時間が長く出陣な1週間 日本語年との交流を入れて 休息と飲食物の用意を 	<ul style="list-style-type: none"> 講師にはグループの性質を知らせておく 講義を映画にとり、講義のかわりに見せればよい ディズニーランドと富士山をテキストには写真やグラフィック使用、又参考書として日本に持参した方がよい 会話のテキストはマレーシアの表現がわかりやすい 	<ul style="list-style-type: none"> テキストを事前に配布 和英、英和辞書の配布 講義中の現況は講義の活用 	<ul style="list-style-type: none"> テキストを事前に配布 十分な情報が得られない 車工業よりはコンピュータ等の先端技術の見学 東京以外の場所を 大生の見学を 職業にもっと時間を 	<ul style="list-style-type: none"> テキストを事前に配布 日本語会話集とコメントは売 分活用できない OHIP等の活用

項目/園名	ブルネイ	インドネシア	マレーシア	フィリピン	シンガポール	タイ
合宿セミナー ①日本人参加者	<ul style="list-style-type: none"> 日本人にも積極性を望む 各グループに通訳の負担を 日本人は英語力が低い 	<ul style="list-style-type: none"> 分野に合った青年の参加を 意欲せがましい発言があった インドネシアの知識、認識が保てて不足 英語を話せる人を 目的意識をもって参加してほしい 日本について知識不足 参加者が少ない 英語以外の教師の参加も 	<ul style="list-style-type: none"> 英語を話せる人を Look East Policy をあまりに知らなすぎる 分野に合った青年の参加をマレーシアについて知っていてほしい 専門的知識のある青年を 一般にレベルが低い 討論について準備不足 	<ul style="list-style-type: none"> 年齢を合わせてほしい 英語以外の教師の参加も 英語を話せる人が少ない 一般にレベルが低い もっとフィリピンのことを勉強してほしい 	<ul style="list-style-type: none"> 年齢、職種を合わせて欲しい 事前に意図、目的、詳細を知っているで欲しい 分野に合った青年の参加を 参加者の男女比を同一に 基礎知識と討論テーマの関係が低い 	<ul style="list-style-type: none"> もっとタイについて知っていてほしい ことばの問題で相互理解が不十分 積極性に欠ける 同世代、同職種で共通の話題を話せる人 男女の割合が不均等
②期間 その他	<ul style="list-style-type: none"> 基礎知識でも講師との質疑応答の時間を 討論テーマは準備できるよりにすめ定める 発表会は趣意をまとめる等、正式レポートを提出できるような意欲あるもの 我にも討論の時間を 職種による構成でグループ討論を 	<ul style="list-style-type: none"> 時間は長く テーマは幼稚なものが多い 通訳はエキスパートを 日本のセミナー参加者も同僚会社組織を作り交流を続けたい テーママーマは日・イで共通性のあるものを 	<ul style="list-style-type: none"> スポーツの時間を入れて4日間が必要 時間は長く できるなら討論内容をマレーシアで短期して欲しい 資料収集と討論テーマを事前に知らせて欲しい 日本側からの問題点の提示が少ない 関係棟閣閣問教にセミナーを実施 日本人青年と同室がよい 議論の態度が低い 	<ul style="list-style-type: none"> 4日間が必要、又は回数を増やす 別業者は不必要 知識が不相当 テーマは現アロ中に通知 日本人と同室にしてほしい 討論より講義が多かった 	<ul style="list-style-type: none"> 討論以外の企画も盛り込む 日本人との同宿を望む トビックが不相当 運送が不相当 セミナーでは討論だけをする必要はない キャンプにし、その中で討論の機会を キャンプ不足 日本人との同宿を望む グループ討論の時間が短い 	<ul style="list-style-type: none"> 4～5日間は必要 1日目は相互に知りあうためのプロログラムを実施 身軽な話題についても話し合いたい 日本側は討論テーマについて理解不足 日本人との同宿を望む グループ討論の時間が短い
ホームステイ	<ul style="list-style-type: none"> ホストに英語を話せる人が1人は必要 企業はシンブルなもので良い 同世代の青年がいる家庭で 同じ職業の家庭で あと1～2泊したい イスラム教についての情報を完全に提供してほしい 	<ul style="list-style-type: none"> 適度のもてなしは不必要 食入準備のある家で 士、目の方が良い 期間を長く(3泊以上) ホストに英語を話せる人が1人は必要 家族をなしている家庭を希望 自分の専門に關係する所で 典型的な日本の家庭で 2～3カ所を実施 	<ul style="list-style-type: none"> 期間中神社、仏閣を入れられない 4日間にしてほしい ホストの情報が事前に欲しい 必要以上のもてなしは不必要 知友の方が良い 突入経験のない家庭が良い ホストに英語又はマレー語を話せる人がいるとよい 突入家庭に金銭的援助をして欲しい 	<ul style="list-style-type: none"> ホストに英語を話せる人が1人は必要 ホストの情報が事前に欲しい 3～7日間にしてほしい 習進の家庭生活を体験したい ホストと職業が一致した方が良い 全行程の1/4はホームステイプロログラムに 1家庭1人にしてほしい 1家庭2人の方が良い 1家庭の家は選んでほしい 同世代の青年のいる家庭で 	<ul style="list-style-type: none"> 期間が短く、家にいる時間も少ない 特別な食料や外出は不必要 ホストの情報が事前に欲しい 期間の延長(3～4日) 専攻の生活をありのまゝに体験したい 	<ul style="list-style-type: none"> 期間を長く、せめて3泊4日 東京と地方の2カ所を実施 日本の普通の家で ホストの情報が事前に欲しい ホストと青年の職業をなるべく一致させて欲しい

項目/国名	ブルネイ	インドネシア	マレーシア	フィリピン	シンガポール	タイ
観光旅行 (広島、京都等)		<ul style="list-style-type: none"> 京都京都の案内が必要 広島訪問期間の延長 	<ul style="list-style-type: none"> 土産を扱う時間がもっとほしい 同じ様な寺などの見学は避けたい 歴史的に重要な見学者が京都ではない 来日直後に見学できるとよい 	<ul style="list-style-type: none"> 京都の1泊2日は短い 奈良はなくてもよい 	<ul style="list-style-type: none"> 伝統技術の見学の場 別期が短い 広島の日目は短い 京都をもっと長く 	<ul style="list-style-type: none"> もう少し長く滞在したい
宿舎、食事	<ul style="list-style-type: none"> ツインの部屋に予約ベットの入れると寝すぎる 共プロの昼食会でパークと替わっていない料理はパークが入っていた 	<ul style="list-style-type: none"> 宿舎ホテルは不要 朝食はアレンジされていた方がよい 	<ul style="list-style-type: none"> 迎に2回自由国のメニュートをイスラム食の提供 同国の他のグループと同所での宿舎をする場合は同じホテル 宿舎設備は必要 日本食が多すぎる 現金支給を多くしてほしい 食事の量が多く不満足 	<ul style="list-style-type: none"> ホテルの移動は少なく 共プロ中の食事は変化がない 食事はすべてアレンジ 食事の量が多すぎる機会がある 食事はセットメニューでない方がよい 朝食をセットしてほしい 	<ul style="list-style-type: none"> もっと下のクラスの安いホテルの使用 日本の伝統的料理を習やす 共プロ中の食事は変化がない 	<ul style="list-style-type: none"> タイ料理等たまにはタイ人の口に合うものを 宿舎が良すぎる 同じ料理の繰返し
その他	<ul style="list-style-type: none"> 南アジア地域へ本計画の基本 大園からのオブザーバー参加 すべての分野をアセアン構成員に グループ構成員の統一 	<ul style="list-style-type: none"> 期間中日本青年の同行を お新りの時期の考慮 アセアン青年期での討論 休息時間と礼拝時間の見直し 公使官事には因政を 日本青年のインドネシア訪問 金曜日を自由行動日に 地獄には日本語のわかるインドネシア人を 日本人青年も同窓会を組織 	<ul style="list-style-type: none"> お新りの期間を手えてほしい 日本青年の同行 ディズニーランド、皇居、国会議事堂へ行きたい あまり放任せず、ホテルでも青年の管理をして欲しい 	<ul style="list-style-type: none"> ディズニーランドへ行きたい 富士山へ行きたい 皇居との交流の機会 礼拝のため日曜はフリーに 日本人青年の全行程同行 他のアセアン青年との交流 自由時間の増 (最低限1日) 参加青年の計画もすべき フィリピン紙空を使用してほしい 参加青年を再渡日本に招待してほしい 	<ul style="list-style-type: none"> 自由行動日を5日に1日 評価プロの4日は長すぎる 船団後の継続的な企画を考え してほしい 一方通行ではなく相互の交流 が盛り立つよう改善してほしい 両国を避けて実施してほしい JICAがもったいない 者に教えてほしい 	<ul style="list-style-type: none"> 配布資料はタイ語で 他のアセアン青年との交流の機会 分野に関係のない政府職員 参加は評任の妨げ 滞在年、グループミーティングの場所の確保 1学期の始まる前に終了してほしい

項目/国名	アセアン 選定	ビ ル マ	ア イ ジ ー	パプア・ニューギニア
現地プログラム	<ul style="list-style-type: none"> 事前に詳細プログラムをホームステイ家庭の報告がほしい 		<ul style="list-style-type: none"> 来日前の研修の実施 日本語学習の充実 プログラムの情報を事前に人選をきちんとしてほしい 	<ul style="list-style-type: none"> 現地プログラムが必要
共通プログラム ① 講義	<ul style="list-style-type: none"> 論理中心の講義から実践的比較文化的な講義を望む 一般的な講義で討論の時間が不十分 日本語学習の場 実践心密着の講義を 英語で講義できる講師を 日本とアセアンの関係に重点を置いた講義を 	<ul style="list-style-type: none"> 社会問題にもふれた講義で興味深い 	<ul style="list-style-type: none"> 経済はもう少し掘り下げた講義を 質問時間を多く 講義の前向きに重視が多い 日本語学習は小人数のグループで 	
② テキスト 見学先 その他	<ul style="list-style-type: none"> 見学先はアセアン諸国にとっ ては政府レベルが高すぎる 施設はもう少しわかりやすく 日本文化に触れる機会がほと んどなかったため、技術面、 文化面のパラドクスをよく 図によつてはJICA 24時 間を見学機会がなく残念 な 自動運工場、カメラ工場の見 学 き ○ O P 等視覚機器の活用 			
合宿セミナー ① 日本人参加者	<ul style="list-style-type: none"> アセアン諸国についてもっと 事前研修を受けられるべきである 様々な分野から選出したら興 味深い討論ができるだろう 年長の公務員の体験談をきき たい 日本青年の英語レベルが低い 英語力のある青年の選考が困 難であれば、プロの通訳者を つけてほしい アセアンに関する知識が乏し い 			
② 期間 その他	<ul style="list-style-type: none"> 参加者との交流には時間が不 十分 言葉の壁がありコミュニケーション セッションがうまくいかないこと もある 合宿施設はホテルと近い距離 を必要とした 期間が短い セミナーの講師を事前に通知 する トビックはもっとと具体性のある ものを 	<ul style="list-style-type: none"> 小さなテーママで話を進めた方がよい 	<ul style="list-style-type: none"> 時間が短か過ぎる 各自が関心を持てるような面白いテーマで 討論テーマは参加者のバック グラウンドを参考に決め、両国青年に充 分準備をさせる 	

項目/国名	アセアン選成	ビ ル マ	フ イ ジ ー	バンア・ニューギニア
ホームステイ	<ul style="list-style-type: none"> 家族構成を事前に知らせて言葉の壁があまりないコミュニケーションがうまくいかない 対応に問題がある 期間の延長 ホームステイ先から各青年へのコミュニケーションがほしい 	<ul style="list-style-type: none"> ホームステイ先で家族とのんびりできたのは1日だけだった 	<ul style="list-style-type: none"> 期間が短い 客扱いしないほしい 日だけでなく、平日にも経験したい 同じような興味を持っている家庭で 	<ul style="list-style-type: none"> 期間の延長 英語が話せる人のいる家庭で
視察旅行 (広島、京都等)	<ul style="list-style-type: none"> 京都の見学場所を増やし、日数も3日ほどにしてほしい 広島は奈良も加えてほしい 神戸、説明不足 広島は視察旅行のハイライト 		<ul style="list-style-type: none"> 京都は寺社見学が多すぎる 	
宿舎、食費	<ul style="list-style-type: none"> イスラム教徒への食事の配慮 宿泊はシングルにしてほしい 食事はすべて現金支給に 		<ul style="list-style-type: none"> 共プロ中のメニューは変化がない 食事はその都度わたしてほしい 	<ul style="list-style-type: none"> 宿舎はホテルよりTICが望ましい
その他	<ul style="list-style-type: none"> 外務省、JICAへの要致を望む 女性交流が不十分 日本からも5名のメンバーを加える 自由時間の増 訪問先、見学先は日本到着後希望に沿ったものを選択できるように 講義や長いミーティングは午前中に もつとアセアンの関係者に重点を置いたプログラムに 公務員の職場の見学 インフォマーシャルな前編、ミーティングの機会 日本青年のアセアン訪問への派遣 		<ul style="list-style-type: none"> 日曜は休日にしてほしい 交流の機会が増 グループプログラムは夏に実施してほしい コーディネーターは男女1名づつ プログラム期間は2~3週間 プログラムの長さはやい 	<ul style="list-style-type: none"> 日本人カウタンパーパートとの交際の時間の増 グループの人数増 全期間の延長 日本人カウタンパーパートがP.N.G.に来れるように 派遣者はプログラムを通して同一の人を P.N.G.と向ちかの関係のある施設や団体の訪問

来日時アンケート集計結果

1. 不安感に関する項目別回答者数及び割合

アンケート組成： 回答者総数58名

	不安あり 名	少し 不安あり 名	不明 名	あまり 不安なし 名	全く 不安なし 名	不安あり 及び不明 %
日本人との意識疎遠	8	29	1	15	5	65.5
物価 / 諸費用	18	18	10	10	2	79.3
食	8	18	2	21	9	48.3
治安	2	5	3	25	23	17.2
地震、台風等の天災	5	13	8	18	14	44.8
外国人に対する 日本人の態度	0	12	12	17	17	41.4
健康状態	2	5	2	30	19	15.5
ホームシック	1	11	0	23	23	20.7
日本人の習俗及び 生活様式	1	17	5	20	15	39.7
日本の気候	1	5	3	23	26	15.5

来日時アンケート集計結果

1. 不安感に関する項目別回答者数及び割合

アンケート組成： 回答者総数38名

	不安あり 名	少し 不安あり 名	不明 名	あまり 不安なし 名	全く 不安なし 名	不安あり 及び不明 %
日本人との意識疎遠	0	24	1	12	1	65.8
物価 / 諸費用	7	14	8	8	1	76.3
食	8	15	7	8	0	78.9
治安	0	5	7	21	5	31.6
地震、台風等の天災	10	13	6	8	1	76.3
外国人に対する 日本人の態度	0	1	16	8	13	44.7
健康状態	0	9	4	13	12	34.2
ホームシック	0	7	1	13	17	21.1
日本人の習俗及び 生活様式	1	8	8	10	11	44.7
日本の気候	0	5	3	21	9	21.1

来日時アンケート集計結果

1. 不安感に関する項目別回答者数及び割合

インドネシア：回答者総数140名

	不安あり 名	少し 不安あり 名	不明 名	あまり 不安なし 名	全く 不安なし 名	不安あり 及び不明 %
日本人との意識疎遠	17	48	2	56	17	47.9
物価/諸費用	30	48	25	30	7	73.6
食	9	45	5	49	32	42.1
治安	2	10	6	61	61	12.9
地震、台風等の天災	11	40	20	42	27	50.7
外国人に対する 日本人の態度	4	19	24	50	43	33.6
健康状態	0	17	3	79	41	14.3
ホームシック	1	13	4	76	46	12.9
日本人の習慣及び 生活様式	4	39	17	55	25	42.9
日本の気候	6	33	2	72	27	29.3

来日時アンケート集計結果

1. 不安感に関する項目別回答者数及び割合

マレーシア：回答者総数140名

	不安あり 名	少し 不安あり 名	不明 名	あまり 不安なし 名	全く 不安なし 名	不安あり 及び不明 %
日本人との意識疎遠	14	59	7	52	8	57.1
物価/諸費用	55	59	6	16	4	85.7
食	40	53	3	32	12	58.6
治安	4	15	7	88	26	18.6
地震、台風等の天災	27	37	17	46	13	57.9
外国人に対する 日本人の態度	5	18	34	61	22	40.7
健康状態	2	30	4	83	21	25.7
ホームシック	6	20	1	76	37	19.3
日本人の習慣及び 生活様式	8	42	14	64	12	45.7
日本の気候	2	33	0	81	24	25.0

来日時アンケート集計結果

1. 不安感に関する項目別回答数及び割合

フィリピン：回答者総数139名

	不安あり 名	少 不安あり 名	不明 名	あまり 不安なし 名	全 く 不安なし 名	不安あり 及び不明 %
日本人との意思疎通	12	75	5	39	8	66.2
物価 / 諸費用	57	52	10	18	2	85.6
食	10	24	9	64	32	30.9
治安	2	21	7	56	53	21.6
地震、台風等の天災	5	37	11	57	29	38.1
外国人に対する 日本人の態度	6	23	20	49	41	35.3
健康状態	1	14	7	56	61	15.8
ホームシック	3	13	0	57	66	11.5
日本人の習慣及び 生活様式	2	21	8	64	44	22.3
日本の気候	0	22	10	58	49	23.0

来日時アンケート集計結果

1. 不安感に関する項目別回答数及び割合

シンガポール：回答者総数140名

	不安あり 名	少 不安あり 名	不明 名	あまり 不安なし 名	全 く 不安なし 名	不安あり 及び不明 %
日本人との意思疎通	31	67	2	33	7	71.4
物価 / 諸費用	15	46	19	46	14	57.1
食	8	29	9	54	40	32.9
治安	1	2	10	65	62	9.3
地震、台風等の天災	1	19	17	59	44	26.4
外国人に対する 日本人の態度	0	5	26	49	60	22.1
健康状態	0	3	10	56	71	9.3
ホームシック	3	17	4	53	63	17.1
日本人の習慣及び 生活様式	2	44	9	48	37	39.3
日本の気候	2	13	4	61	60	13.6

来日時アンケート集計結果

1. 不安感に関する項目別回答者数及び割合

タ ; イ : 回答者総数140名

	不安あり 名	少 不安あり 名	不明 名	あまり 不安なし 名	全く 不安なし 名	不安あり 及び不明 %
日本人との意志疎通	38	60	3	24	15	72.1
物価 / 諸費用	45	52	8	24	11	75.0
食 事	12	29	13	51	35	38.6
治 安	4	23	5	43	65	22.9
地震、台風等の天災	9	31	15	44	41	39.3
外国人に対する 日本人の態度	5	22	31	40	42	41.4
健康 状態	4	28	3	39	66	25.0
ホームシック	5	18	5	28	84	20.0
日本人の習慣及び 生活様式	9	44	9	40	38	44.3
日本の気候	8	52	4	37	39	45.7

来日時アンケート集計結果

1. 不安感に関する項目別回答者数及び割合

ビルマ ; : 回答者総数10名

	不安あり 名	少 不安あり 名	不明 名	あまり 不安なし 名	全く 不安なし 名	不安あり 及び不明 名
日本人との意志疎通	0	1	0	1	8	1/10
物価 / 諸費用	0	2	4	2	2	8/10
食 事	0	1	0	0	9	1/10
治 安	0	0	0	0	10	0/10
地震、台風等の天災	0	2	0	3	5	2/10
外国人に対する 日本人の態度	0	0	3	0	7	3/10
健康 状態	0	0	0	0	10	0/10
ホームシック	1	2	0	2	5	3/10
日本人の習慣及び 生活様式	0	0	0	2	8	9/10
日本の気候	2	1	0	2	5	3/10

来日時アンケート集計結果

1. 不安度に関する項目別回答者数及び割合

フィジー：回答者総数10名

	不安あり 名	少し 不安あり 名	不明 名	あまり 不安なし 名	全く 不安なし 名	不安あり 及び不明 名
日本人との意識疎通	2	5	0	2	1	7/10
物価/諸費用	5	4	1	0	0	10/10
食 事	0	2	0	4	4	2/10
治 安	0	0	0	1	9	0/10
地震、台風等の天災	0	0	2	4	4	2/10
外国人に対する 日本人の態度	1	1	1	3	4	3/10
健康状態	0	1	1	2	6	2/10
ホームシック	0	2	0	3	5	2/10
日本人の習慣及び 生活様式	0	4	0	3	3	4/10
日本の気候	0	1	0	0	9	1/10

来日時アンケート集計結果

1. 不安度に関する項目別回答者数及び割合

P.N.I.C.: 回答者総数10名

	不安あり 名	少し 不安あり 名	不明 名	あまり 不安なし 名	全く 不安なし 名	不安あり 及び不明 名
日本人との意識疎通	4	2	0	2	2	6/10
物価/諸費用	4	4	0	1	1	8/10
食 事	2	2	1	2	3	5/10
治 安	2	0	0	2	6	2/10
地震、台風等の天災	0	2	3	1	4	5/10
外国人に対する 日本人の態度	0	2	3	1	4	5/10
健康状態	0	2	1	1	6	3/10
ホームシック	1	2	0	2	5	3/10
日本人の習慣及び 生活様式	2	4	0	0	4	6/10
日本の気候	1	1	0	6	2	2/10

来日時アンケート集計結果

2. 期待度に関する項目別回答者数及び割合

アセブン歳成：回答者総数58名

	非常に 関心あり 名	関心あり 名	不明 名	あまり 関心なし 名	全く 関心なし 名	関心あり %
日本理解のための プログラム	34	23	1	0	0	98.3
分野別学習	35	20	3	0	0	94.8
日本人青年との討議	27	31	0	0	0	100
日本人青年との交流	44	14	0	0	0	100
ホームステイ	32	23	1	1	1	94.8
施設の見学	41	15	2	0	0	95.6
日本語の練習	30	24	1	3	0	93.1
買い物	15	28	6	9	0	74.1
観光	44	13	1	0	0	98.3
日本の芸術/文化	36	19	2	1	0	94.8

来日時アンケート集計結果

2. 期待度に関する項目別回答者数及び割合

ブルネイ：回答者総数38名

	非常に 関心あり 名	関心あり 名	不明 名	あまり 関心なし 名	全く 関心なし 名	関心あり %
日本理解のための プログラム	15	21	2	0	0	94.7
分野別学習	25	12	1	0	0	97.4
日本人青年との討議	22	14	2	0	0	94.7
日本人青年との交流	29	7	2	0	0	94.7
ホームステイ	10	24	4	0	0	89.5
施設の見学	19	17	2	0	0	94.7
日本語の練習	16	20	2	0	0	94.7
買い物	7	23	3	5	0	78.9
観光	33	5	0	0	0	100
日本の芸術/文化	26	12	0	0	0	100

来日時アンケート集計結果

2. 期待度に関する項目別回答者数及び割合

インドネシア：回答者総数140名

	非常に 関心あり 名	関心あり 名	不明 名	あまり 関心なし 名	全く 関心なし 名	関心あり %
日本理解のための プログラム	78	58	3	1	0	97.1
分野別学習	64	70	5	1	0	95.7
日本人青年との討議	68	69	3	0	0	97.9
日本人青年との交流	82	55	2	1	0	97.9
ホームステイ	87	49	3	1	0	97.1
施設談の見学	104	33	3	0	0	97.9
日本語の練習	52	80	5	3	0	94.3
夏 物	15	83	16	24	2	70.0
秋 光	87	50	0	3	0	97.9
日本の芸術/文化	43	76	11	7	3	85.0

来日時アンケート集計結果

2. 期待度に関する項目別回答者数及び割合

マレーシア：回答者総数140名

	非常に 関心あり 名	関心あり 名	不明 名	あまり 関心なし 名	全く 関心なし 名	関心あり %
日本理解のための プログラム	87	52	0	1	0	99.3
分野別学習	91	46	3	0	0	97.9
日本人青年との討議	92	43	5	0	0	96.4
日本人青年との交流	109	30	1	0	0	99.3
ホームステイ	95	39	6	0	0	95.7
施設談の見学	127	10	3	0	0	97.9
日本語の練習	83	55	1	1	0	92.6
夏 物	5	71	11	50	3	54.3
秋 光	119	19	1	1	0	98.6
日本の芸術/文化	91	45	4	0	0	97.1

来日時アンケート集計結果

2. 期待度に関する項目別回答者数及び割合

フィリピン：回答者総数139名

	非常に 関心あり 名	関心あり 名	不明 名	あまり 関心なし 名	全く 関心なし 名	関心あり %
日本理解のための プログラム	88	43	5	3	0	94.2
分野別学習	103	32	3	1	0	97.1
日本人青年との討議	116	21	2	0	0	98.6
日本人青年との交流	129	9	1	0	0	99.3
ホームステイ	101	33	4	1	0	96.4
施設の見学	116	19	3	1	0	97.1
日本語の概習	72	64	2	1	0	97.8
賞物	81	43	7	8	0	89.2
取光	121	14	2	2	0	97.1
日本の芸術/文化	121	17	1	0	0	99.3

来日時アンケート集計結果

2. 期待度に関する項目別回答者数及び割合

シンガポール：回答者総数140名

	非常に 関心あり 名	関心あり 名	不明 名	あまり 関心なし 名	全く 関心なし 名	関心あり %
日本理解のための プログラム	43	88	8	1	0	93.6
分野別学習	64	65	10	1	0	92.1
日本人青年との討議	76	59	4	1	0	96.4
日本人青年との交流	104	34	1	1	0	98.6
ホームステイ	82	52	5	1	0	95.7
施設の見学	83	50	6	1	0	95.0
日本語の概習	44	81	13	2	0	89.3
賞物	28	74	12	25	1	72.9
取光	95	43	2	0	0	98.6
日本の芸術/文化	98	39	3	0	0	97.9

来日時アンケート集計結果

2. 期待度に関する項目別回答者数及び割合

タ イ : 回答者総数140名

	非常に 関心あり 名	関心あり 名	不明 名	あまり 関心なし 名	全く 関心なし 名	関心あり %
日本理解のための プログラム	117	22	1	0	0	99.3
分野別学習	109	28	2	1	0	97.9
日本人青年との討議	97	40	2	1	0	97.9
日本人青年との交流	119	19	2	0	0	98.6
ホームステイ	104	32	4	0	0	97.1
語施設の見学	111	26	3	0	0	97.9
日本語の練習	90	45	3	2	0	96.4
買い物	36	69	14	19	2	75.0
観光	108	30	1	1	0	98.6
日本の芸術/文化	94	43	3	0	0	97.9

来日時アンケート集計結果

2. 期待度に関する項目別回答者数及び割合

ビルマ : 回答者総数10名

	非常に 関心あり 名	関心あり 名	不明 名	あまり 関心なし 名	全く 関心なし 名	関心あり %
日本理解のための プログラム	7	1	2	0	0	8/10
分野別学習	7	2	1	0	0	9/10
日本人青年との討議	9	1	0	0	0	10/10
日本人青年との交流	9	1	0	0	0	10/10
ホームステイ	5	1	4	0	0	6/10
語施設の見学	8	1	1	0	0	9/10
日本語の練習	7	2	1	0	0	9/10
買い物	5	2	0	3	0	7/10
観光	9	1	0	0	0	10/10
日本の芸術/文化	9	1	0	0	0	10/10

来日時アンケート集計結果

2. 期待度に関する項目別回答者数及び割合

フィジー : 回答者総数10名

	非常に 関心あり 名	関心あり 名	不明 名	あまり 関心なし 名	全く 関心なし 名	関心あり 名
日本理解のための プログラム	7	3	0	0	0	10/10
分野別学習	7	3	0	0	0	10/10
日本人青年との討議	5	3	1	1	0	8/10
日本人青年との交流	8	2	0	0	0	10/10
ホームステイ	5	4	1	0	0	9/10
施設の見学	9	1	0	0	0	10/10
日本語の練習	4	5	0	1	0	9/10
買い物	6	3	0	1	0	9/10
観光	8	2	0	0	0	10/10
日本の芸術/文化	6	4	0	0	0	10/10

来日時アンケート集計結果

2. 期待度に関する項目別回答者数及び割合

P.N.G.: 回答者総数10名

	非常に 関心あり 名	関心あり 名	不明 名	あまり 関心なし 名	全く 関心なし 名	関心あり 名
日本理解のための プログラム	9	0	1	0	0	9/10
分野別学習	8	2	0	0	0	10/10
日本人青年との討議	9	1	0	0	0	10/10
日本人青年との交流	10	0	0	0	0	10/10
ホームステイ	9	0	0	1	0	9/10
施設の見学	9	1	0	0	0	10/10
日本語の練習	9	1	0	0	0	10/10
買い物	8	2	0	0	0	10/10
観光	10	0	0	0	0	10/10
日本の芸術/文化	10	0	0	0	0	10/10

1986年度帰国時アンケート集計結果

満足度について

総回答者数828名(来日829名)

	非常に			満足度			満足度		
	かなり	かなり	満足	満足	満足	満足	満足	満足	
	満足	満足	満足	満足	満足	満足	満足	満足	
共通プログラム	246	412	122	38	5	94.8			
講義	400	293	103	24	4	96.6			
日本語会話	535	235	45	8	2	98.8			
視察	289	395	103	37	3	95.2			
分野別プログラム	555	222	37	10	2	98.5			
視察	562	192	54	17	1	97.8			
日本青年との ディスカッション	589	181	47	7	1	99.0			
日本青年との交流	578	198	39	9	0	98.9			
視察	658	128	29	9	2	98.7			
ホームステイ	604	183	25	3	2	99.4			
視察	539	234	34	8	2	98.8			
京都、他									

(注) 項目別の無回答者は、集計値(%)に含まれず

満足度について

アセアン産成: 58名

	非常に			満足度			満足度		
	かなり	かなり	満足	満足	満足	満足	満足	満足	
	満足	満足	満足	満足	満足	満足	満足	満足	
共通プログラム	15	30	7	6	0	98.7			
講義	20	25	10	2	0	96.6			
日本語会話	33	19	5	1	0	98.3			
視察	17	32	4	5	0	91.4			
分野別プログラム	39	17	2	0	0	100			
視察	26	18	9	5	0	91.4			
日本青年との ディスカッション	36	14	7	1	0	98.3			
日本青年との交流	38	17	3	0	0	100			
視察	30	18	7	2	1	94.8			
ホームステイ	37	16	5	0	0	100			
視察	30	22	5	1	0	98.3			
京都、他									

(注) 項目別の無回答者は、集計値(%)に含まれず

満足度について

ブルネイ：40名

	非常に		かなり		満足	あまり		楽しんだ	楽しんだ	
	満足	満足	満足	満足		満足	満足		満足	満足
共通 プログラム	講	17	22	0	1	0	97.5			
	日本語会話	21	14	1	4	0	90.0			
	視	31	8	1	0	0	100.0			
分野別 プログラム	講	20	18	0	2	0	95.0			
	視	30	9	1	0	0	100.0			
	日本青年との ディスカッション	28	8	3	1	0	97.5			
日本青年との交流	30	5	3	1	0	97.4				
視	28	8	3	0	0	100.0				
ホームステイ	34	4	1	0	0	100.0				
広	28	4	1	0	1	97.1				
京都、他	27	10	2	1	0	97.5				

(注) 項目別の無回答者は、集計値 (%) に含まれず

満足度について

インドネシア：141名

	非常に		かなり		満足	あまり		楽しんだ	楽しんだ	
	満足	満足	満足	満足		満足	満足		満足	満足
共通 プログラム	講	42	43	51	4	0	97.1			
	日本語会話	52	46	38	3	1	97.1			
	視	73	52	13	2	0	98.6			
分野別 プログラム	講	50	43	43	4	0	97.1			
	視	78	52	10	0	0	100.0			
	日本青年との ディスカッション	72	51	14	3	0	97.9			
日本青年との交流	88	40	9	3	0	97.9				
視	77	43	18	1	0	99.3				
ホームステイ	101	29	9	1	0	99.3				
広	96	34	8	1	1	98.6				
京都、他	84	45	9	0	1	99.3				

(注) 項目別の無回答者は、集計値 (%) に含まれず

満足度について

マレイン7:140名

	非常に		かなり	缘分	あまり		楽しんで
	満足に	満足に			満足に	満足に	
共通 プログラム	満足	22	80	25	10	3	90.7
	日本語会誌	70	48	16	6	0	95.7
	視察	83	46	6	2	1	97.8
分野別 プログラム	満足	33	76	20	9	2	92.1
	視察	87	39	9	4	1	96.4
	日本青年との ディスカッション	96	25	14	5	0	96.4
日本青年との交流	98	31	10	1	0	99.3	
視察	98	33	6	3	0	97.9	
ホームステイ	111	24	3	2	0	98.6	
視察	広島	105	33	1	1	0	99.3
	京都、他	83	42	8	5	1	95.7

(注) 項目別の無回答者は、集計値 (%) に含まれず

満足度について

マレイン7:139名

	非常に		かなり	缘分	あまり		楽しんで
	満足に	満足に			満足に	満足に	
共通 プログラム	満足	48	64	17	8	2	92.8
	日本語会誌	62	56	16	3	2	96.4
	視察	115	20	3	0	1	99.3
分野別 プログラム	満足	50	66	14	8	1	93.5
	視察	112	23	3	0	1	99.3
	日本青年との ディスカッション	98	35	3	2	1	97.8
日本青年との交流	109	24	5	0	1	99.3	
視察	122	15	0	1	0	99.3	
ホームステイ	115	17	5	2	0	98.6	
視察	広島	121	15	0	0	0	100
	京都、他	116	17	0	0	0	100

(注) 項目別の無回答者は、集計値 (%) に含まれず

遊覧歴について

シンガポール：140名

	非常に		かなり		幾分		あまり		全く		楽しんだ (%)
	楽しんだ	楽しまず	楽しんだ	楽しまず	楽しんだ	楽しまず	楽しんだ	楽しまず	楽しんだ	楽しまず	
共通 プログラム	講	37	83	12	8	0	94.3				
	日本語会話	79	47	11	3	0	97.9				
	視	82	45	12	1	0	99.3				
分野別 プログラム	講	43	76	13	8	0	94.3				
	視	82	48	7	2	0	98.6				
	日本青年との ディスカッション	110	21	8	0	0	100				
	日本青年との交流	110	23	6	0	0	100				
	阪	105	30	4	1	0	99.3				
視察	ホームステイ	118	18	4	0	0	100				
	広	88	44	7	0	0	100				
	京都、他	86	46	6	0	0	100				

(注) 項目別の無回答者は、集計値 (%) に含まれません

遊覧歴について

タイ：140名

	非常に		かなり		幾分		あまり		全く		楽しんだ (%)
	楽しんだ	楽しまず	楽しんだ	楽しまず	楽しんだ	楽しまず	楽しんだ	楽しまず	楽しんだ	楽しまず	
共通 プログラム	講	51	78	6	5	0	96.4				
	日本語会話	80	48	8	4	0	97.1				
	視	94	41	4	1	0	99.3				
分野別 プログラム	講	59	74	7	0	0	100				
	視	104	29	4	3	0	97.9				
	日本青年との ディスカッション	105	33	2	0	0	100				
	日本青年との交流	92	42	6	0	0	100				
	阪	86	47	4	3	0	97.9				
視察	ホームステイ	125	15	0	0	0	100				
	広	106	31	3	0	0	100				
	京都、他	93	44	2	1	0	99.3				

(注) 項目別の無回答者は、集計値 (%) に含まれません

満足度について

サンプル：10名

	非常に 満足	かなり 満足	紙分	あまり 満足		満足 人数
				満足	満足	
共通 プログラム	5	4	1	0	0	10 / 10
	5	4	1	0	0	10 / 10
	6	3	1	0	0	10 / 10
分野別 プログラム	7	2	1	0	0	10 / 10
	6	3	1	0	0	10 / 10
	8	1	1	0	0	10 / 10
視察	8	1	1	0	0	10 / 10
	6	3	1	0	0	10 / 10
	6	2	0	1	1	8 / 10
広島	7	2	0	1	0	9 / 10
京都、他	5	3	2	0	0	10 / 10

(注) 項目別の無回答者は、集計値(%)に含まれません

満足度について

サンプル：10名

	非常に 満足	かなり 満足	紙分	あまり 満足		満足 人数
				満足	満足	
共通 プログラム	4	3	3	0	0	10 / 10
	4	3	1	1	1	8 / 10
	9	0	0	1	0	9 / 10
分野別 プログラム	3	5	1	1	0	9 / 10
	8	1	0	1	0	9 / 10
	9	0	0	1	0	9 / 10
視察	9	0	0	1	0	9 / 10
	9	1	0	0	0	10 / 10
	9	0	0	1	0	8 / 10
広島	8	2	0	0	0	10 / 10
京都、他	8	2	0	0	0	10 / 10

(注) 項目別の無回答者は、集計値(%)に含まれません

満足度について

P.N.G:10名

	非常に 満足	かなり 満足	半分 満足	あまり 満足 しない	全く 満足 しない	満足 した 人数
共通 プログラム	5	5	0	0	0	10 / 10
	7	1	1	1	0	9 / 10
	9	1	0	0	0	10 / 10
分野別 プログラム	7	3	0	0	0	10 / 10
	9	1	0	0	0	10 / 10
	10	0	0	0	0	10 / 10
	9	1	0	0	0	10 / 10
	9	1	0	0	0	10 / 10
視察	8	2	0	0	0	10 / 10
	7	2	0	0	0	9 / 10

(注) 項目別の無回答率は、概算値(%)に含まれません

アセアン青年との合宿セミナー参加日本青年アンケート

(1) 全 体

(2) アセアン混成

(3) ブルネイ

(4) インドネシア

(5) マレーシア

(6) フィリピン

(7) シンガポール

(8) タ イ

合宿セミナー参加青年向けアンケート集計結果

全 体

1. 性別： a. 男384名 (61%) b. 女216名 (34%) c. 無回答 28名 (4%)
2. 年齢： a. ～20 75名 (12%) b. 21～25 267名 (43%) c. 26～30 186名 (30%) b. 31～35 66名 (11%) e. 36～33名 (5%)
3. 職業： a. 会社員 85名 (14%) b. 自営業 35名 (6%) c. 公務員170名 (27%) d. 教員 91名 (15%) e. 学生 191名 (31%) f. その他 50名 (8%)
4. 国際交流経験（複数回答可）
 - a. 外国人と会って話をしたことがある 531名 (31%) b. 同種の合宿セミナー等に参加したことがある 137名 (8%)
 - c. 外国人の友人がいる（いた） 358名 (31%) b. 単なる観光程度の海外旅行経験がある 296名 (17%)
 - e. 現地の人との交流を含む海外旅行経験がある 256名 (15%) f. 子供のころ外国に住んでいた 20名 (1%)
 - g. 留学経験がある 60名 (4%) h. その他居住経験がある 17名 (1%) i. その他 28名 (2%)
5. 現在行ってみたい国（1人3カ国記入）
 - a. アメリカ203名 (23%) b. オーストラリア130名 (15%) c. 中国 129名 (15%) d. イギリス 99名 (11%)
 - e. タイ 83名 (9%) f. シンガポール 83名 (9%) g. インドネシア 79名 (9%) h. フランス 76名 (9%) 他多数
6. 合宿セミナーの中で有意義に思われたこと（複数回答可）
 - a. 基調講演 133名 (7%) b. 課題発表 112名 (6%) c. 意見交換 282名 (16%) d. スポーツ交流 227名 (13%)
 - e. レクリエーション 279名 (15%) f. 親睦パーティー 381名 (21%) g. 自由時間の交流 386名 (21%) h. その他 14名 (1%)
7. アセアン青年との討論
 - a. 通訳の助けなしに良くできた 101名 (16%) b. 通訳の助けなしにある程度できた 216名 (35%)
 - c. 通訳を介して良くできた 130名 (21%) d. 通訳を介してある程度できた 131名 (21%)
 - e. 通訳不足のためあまり良くできなかった 46名 (7%)
8. 合宿セミナーの中で改善すべき点（複数回答可）
 - a. プログラムの進行 60名 (7%) b. かみあう話題が少ない 30名 (3%) c. 自分の積極性 158名 (18%)

d. 自分達の語学力 402名 (46%) e. アセアン青年の語学力 56名 (6%) f. 事前情報の不足 174名 (20%)

9. 合宿セミナーの機関

a. 短い 19名 (4%) b. 適当 425名 (94%) c. 長い 6名 (1%)

10. 合宿セミナーの場所

a. 適当 512名 (84%) b. 不適當 101名 (16.5%)

11. 合宿セミナーの満足度

a. 非常に満足 186名 (30%) b. 概ね満足 320名 (52%) c. 普通 88名 (14%) d. どちらかという不満 23名 (4%)
e. かなり不満 2名 (0.3%)

12. 合宿セミナーに参加した動機 (複数回答可)

a. 知人の勧め 190名 (11%) b. 団体からの推薦 244名 (15%) c. 友人・知人が一緒 35名 (2%)
d. 参加費かせ無料 139名 (8%) e. 外国を知り見解を広めたい 309名 (19%)
f. アジアに関心が深い 223名 (13%) g. 交流国に関心が深い 168名 (10%) h. 友人ができる 231名 (14%)
i. 信頼できる事業 99名 (6%) j. その他 27名 (2%)

13. 合宿セミナーに参加して良かったと思うこと (複数回答可)

a. 外国人と友人になった 437名 (19%) b. 歌や踊り、スポーツなどの交流をした 288名 (12%)
c. 自分と同分野の外国人と討論できた 201名 (9%) d. 外国人に日本や日本人を理解してもらえた
158名 (7%) e. 外国語を聞き話した 274名 (12%) f. アジア諸外国の人の考えかたがわかった 340名 (15%) g.
日本や日本人について再認識した 270名 (12%) h. 日本と外国との比較ができた 333名 (14%) i. その他
32名 (1%)

14. 合宿セミナーに参加してもらいたいこと (複数回答可)

a. 同種のセミナーに参加したい 407名 (24%) b. 友人に同種のセミナーに参加するよう勧める 332名 (19%)
c. 将来交流国に旅行したい 407名 (24%) d. 将来交流国と関わりのある仕事を持ちたい 138名 (8%)
e. アジアの国々への関心をもち続けたい 406名 (24%) f. その他 23名 (1%)

15. 今回知り合った青年たちとの今後の交流

a. 予定なし 146名 (18%) b. 1~2回程度手紙を書く 107名 (13%) c. 継続して手紙を書く 169名 (21%)
d. 機会があったら向こうの国に行って再会したい 376名 (47%) e. その他 9名 (1%)

合宿セミナー参加青年向けアンケート集計結果

アセアン混成

1. 性別： a. 男 46名 (84%) b. 女 9名 (16%)
2. 年齢： a. ～20 0名 (0%) b. 21～25 24名 (43%) c. 26～30 28名 (50%) d. 31～35 4名 (7%)
e. 36～ 0名 (0%)
3. 職業： a. 会社員 0名 (0%) b. 自営業 0名 (0%) c. 公務員 48名 (87%) d. 教員 0名 (0%)
e. 学生 0名 (0%) f. その他 7名 (13%)
4. 国際交流経験（複数回答可）
a. 外国人と会って話しをしたことがある 49名 (39%) b. 同種の合宿セミナー等に参加したことがある
5名 (4%) c. 外国人の友人がいる（いた） 22名 (17%) d. 単なる観光程度の海外旅行経験がある 26名 (21%)
e. 現地の人との交流を含む海外旅行経験がある 11名 (9%) f. 子供のころ外国に住んでいた 0名 (0%)
g. 留学経験がある 9名 (7%) h. その他居住経験がある 2名 (2%) i. その他 2名 (2%)
5. 現在行ってみたい国（1人3カ国記入）
a. アメリカ 17名 (12%) b. オーストラリア 11名 (8%) c. イギリス 11名 (8%) d. インドネシア 10名 (8%)
e. 中国 9名 (7%) f. タイ 8名 (6%) g. フランス 8名 (6%) h. シンガポール 7名 (5%)
i. その他 62名 (49%)
6. 合宿セミナーの中で有意義に思われたこと（複数回答可）
a. 基調講演 16名 (10%) b. 課題発表 9名 (6%) c. 意見交換 35名 (22%) d. スポーツ交流 16名 (10%) e. レ
クリエーション 20名 (13%) f. 親睦パーティー 29名 (18%) g. 自由時間の交流 32名 (20%) h. その他 0名 (0%)
7. アセアン青年との討論
a. 通訳の助けなしに良くできた 10名 (19%) b. 通訳の助けなしにある程度できた 24名 (44%) c. 通訳を
介して良くできた 2名 (4%) d. 通訳を介してある程度できた 7名 (13%) e. 通訳不足のためあまり良く
できなかった 11名 (20%)
8. 合宿セミナーの中で改善すべき点（複数回答可）
a. プログラムの進行 2名 (2%) b. かみあう話題が少ない 4名 (4%) c. 自分の積極性 10名 (10%) d. 自

分達の語学力 41名 (41%) e. アセアン青年の語学力 1名 (1%) f. 事前情報の不足 13名 (各国事情 11名, アセアン青年のプロフィール 2名) g. その他 28名 (日本人の英語力6名, 開催日時は水木金が良い4名など) (28%)

9. 合宿セミナーの期間

a. 短い 17名 (31%) b. 適当 37名 (67%) c. 長い 1名 (2%)

10. 合宿セミナーの場所

a. 適当 50名 (93%) b. 不適当 4名 (もっとも広い所がいい, 部屋にバス・トイレがあふるところがいい など) (7%)

11. 合宿セミナーの満足度

a. 非常に満足 9名 (16%) b. 概ね満足 25名 (45%) c. 普通 19名 (35%) d. どちらかという不満 1名 (1.9%)
e. かなり不満 1名 (英語が話せない) (1.9%)

12. 合宿セミナーに参加した動機 (複数回答可)

a. 知人の勧め 6名 (5%) b. 団体からの推薦 35名 (32%) c. 友人・知人が一緒 1名 (1%) d. 参加費が無料 6名 (5%) e. 外国を知り見解を広めたい 21名 (19%) f. アジアに関心が深い 7名 (6%) g. 交流国に関心が深い 10名 (9%) h. 友人ができる 16名 (14%) i. 信頼できる事業 7名 (6%) j. その他 2名 (2%)

13. 合宿セミナーに参加して良かったと思うこと (複数回答可)

a. 外国人と友人になった 34名 (23%) b. 歌踊り, スポーツなどの交流をした 20名 (13%) c. 自分と同分野の外国人と討論できた 6名 (4%) d. 外国人に日本や日本人を理解してもらえた 5名 (3%) e. 外国語を聞き話した 25名 (17%) f. アジア諸国の人の考え方がわかった 23名 (15%) g. 日本や日本人について再認識した 18名 (12%) h. 日本と外国との比較ができた 18名 (12%) i. その他 2名 (1%)

14. 合宿セミナーに参加しておもうこと (複数回答可)

a. 同種のセミナーに参加したい 25名 (20%) b. 友人に同種のセミナーに参加するよう勧める 17名 (14%)
c. 将来交流国に旅行したい 35名 (28%) d. 将来交流国と関わりのある仕事をもちたい 14名 (11%)
e. アジアの国々への関心をもち続けたい 30名 (24%) f. その他 2名 (2%)

15. 今回知り合った青年たちとの今後の交流

a. 予定なし 24名 (43%) b. 1~2回程度手紙を書く 7名 (13%) c. 継続して手紙を書く 5名 (9%)
d. 機会があったら向こうの国に行って再会したい 25名 (45%) e. その他 2名 (4%)

16. 合宿セミナーの感想

- a. 有意義だった 6名 (19%) b. コーディネーター優秀だった 3名 (10%) c. 日本人は語学力不足 2名 (6%)
d. アセアン青年は自分の意見を持っている 2名 (6%) e. その他 18名 (58%)

合宿セミナー参加青年向けアンケート集計結果

ブルネイ

1. 性別： a. 男 23名 (61%) b. 女 12名 (32%) c. 無回答 3名 (8%)
2. 年齢： a. ~20 1名 (3%) b. 21~25 11名 (29%) c. 26~30 9名 (24%) d. 31~35 10名 (26%)
e. 36~ 7名 (18%)
3. 職業： a. 会社員 4名 (11%) b. 自営業 1名 (3%) c. 公務員 10名 (26%) d. 教員 11名 (29%)
e. 学生 6名 (16%) f. その他 5名 (13%)
4. 国際交流経験（複数回答可）
a. 外国人と合って話をしたことがある 35名 (26%) b. 同種の合宿セミナー等に参加したことがある
19名 (14%) c. 外国人の友人がいる（いた） 26名 (19%) d. 単なる観光程度の海外旅行経験がある 26名 (19%)
e. 現地の人との交流を含む海外旅行経験がある 23名 (17%) f. 子供のころ外国に住んでいた 1名 (1%)
g. 留学経験がある 6名 (4%) h. その他居住経験がある 0名 (0%) i. その他 1名 (1%)
5. 現在行ってみたい国（1人3カ国記入）
a. アメリカ 17名 (16%) b. ブルネイ 12名 (11%) c. オーストラリア 9名 (8%) d. 中国 8名 (8%) e. イギリス 7名 (7%)
f. カナダ 6名 (6%) g. ソ連 5名 (5%) h. フィリピン 5名 (5%) i. タイ 4名 (4%) j. その他 33名 (31%)
6. 合宿セミナーの中で有意義に思われたこと（複数回答可）
a. 基調講演 16名 (11%) b. 課題発表 6名 (4%) c. 意見交換 28名 (20%) d. スポーツ交流 23名 (16%)
e. レクリエーション 18名 (13%) f. 親睦パーティー 20名 (14%) g. 自由時間の交流 30名 (21%) h. その他 0名
7. アセアン青年との討論
a. 通訳の助けなしに良くできた 8名 (21%) b. 通訳の助けなしにある程度できた 21名 (55%)
c. 通訳を介して良くできた 2名 (5%) d. 通訳を介してある程度できた 5名 (13%)
e. 通訳不足のためあまり良くできなかった 1名 (3%)
8. 合宿セミナーの中で改善すべき点（複数回答可）
a. プログラムの進行 2名 (3%) b. かみあう話題が少ない 2名 (3%) c. 自分の積極性 16名 (24%)

d. 自分達の語学力 19名 (28%) e. アセアン青年の語学力 1名 (1%) f. 事前情報の不足 6名 (ブルネイ国事情 6名) (9%) g. その他 22名 (論議に通訳がないこと, 論議のトピックを決めていないことなど) (32%)

9. 合宿セミナーの期間

a. 短い 5名 (13%) b. 適当 32名 (84%) c. 長い 1名 (3%)

10. 合宿セミナーの場所

a. 適当 33名 (87%) b. 不適當 4名 (11%)

11. 合宿セミナーの満足度

a. 非常に満足 10名 (27%) b. 概ね満足 22名 (59%) c. 普通 5名 (3%) d. どちらかという不満 0名 (0%)
e. かなり不満 0名 (0%)

12. 合宿セミナーに参加した動機 (複数回答可)

a. 知人の勧め 11名 (11%) b. 団体からの推薦 13名 (13%) c. 友人・知人が一緒 2名 (2%)
d. 参加費が無料 8名 (8%) e. 外国を知り見解を広めたい 21名 (21%) f. アジアに関心が深い 19名 (19%)
g. 交流国に関心が深い 10名 (10%) h. 友人ができる 13名 (13%) i. 信頼できる事業 4名 (4%) j. その他 0名 (0%)

13. 合宿セミナーに参加して良かったと思うこと (複数回答可)

a. 外国人と友人になった 26名 (19%) b. 歌や踊り, スポーツなどの交流をした 19名 (14%)
c. 自分と同分野の外国人と討論できた 10名 (7%) d. 外国人に日本や日本人を理解してもらえた 8名 (6%)
e. 外国語を聞き話した 20名 (15%) f. アジア諸国の人の考え方がわかった 22名 (16%)
g. 日本や日本人について再認識した 8名 (6%) h. 日本と外国との比較ができた 22名 (16%) i. その他 0名

14. 合宿セミナーに参加しておもうこと (複数回答可)

a. 同種のセミナーに参加したい 30名 (29%) b. 友人に同種のセミナーに参加するよう勧める 19名 (18%)
c. 将来交流国に旅行したい 22名 (21%) d. 将来交流国と関わりのある仕事を持ちたい 8名 (8%)
e. アジアの国々への関心をもち続けたい 26名 (25%) f. その他 0名 (6%)

15. 今回知り合った青年たちとの今後の交流

a. 予定なし 11名 (22%) b. 1~2回程度手紙を書く 8名 (16%) c. 継続して手紙を書く 11名 (22%)

d. 機会があったら向こうの国に行って再会したい 19名 (39%) e. その他 0名 (0%)

16. 合宿セミナーの感想

a. 有意義だった 5名 (29%) b. アジアに関心が湧いた 3名 (18%) c. 日本人は英語力不足 3名 (18%)
d. ブルネイ青年は明るい 2名 (12%) e. 日本を再認識した 2名 (12%) f. その他 2名 (12%)

合宿セミナー参加青年向けアンケート集計結果

インドネシア

1. 性別： a. 男 80名 (65%) b. 女 35名 (28%) c. 無回答 8名 (6%)
2. 年齢： a. ~20 11名 (9%) b. 21~25 47名 (38%) c. 26~30 40名 (33%) d. 31~35 15名 (12%)
e. 36~ 10名 (8%)
3. 職業： a. 会社員 25名 (21%) b. 自営業 14名 (12%) c. 公務員 40名 (33%) d. 教員 12名 (10%)
e. 学生 22名 (18%) f. その他 8名 (7%)
4. 国際交流経験
 - a. 外国人と合って話をしたことがある 96名 (35%)
 - b. 同種の合宿セミナー等に参加したことがある 9名 (3%)
 - c. 外国人の友人がいる(いた) 49名 (18%)
 - d. 単なる観光程度の海外旅行経験がある 52名 (19%)
 - e. 現地の人との交流を含む海外旅行経験がある 46名 (17%)
 - f. 子供のころ外国に住んでいた 2名 (1%)
 - g. 留学経験がある 5名 (2%)
 - h. その他居住経験がある 8名 (3%)
 - i. その他 5名 (2%)
5. 現在行ってみたい国 (1人3カ国記入)
 - a. インドネシア 52名 (15%)
 - b. アメリカ 40名 (12%)
 - c. オーストラリア 33名 (10%)
 - d. 中国 24名 (7%)
 - e. カナダ 22名 (6%)
 - f. フランス 20名 (6%)
 - g. イギリス 18名 (5%)
 - h. その他 131名 (38%)
6. 合宿セミナーの中で有意義に思われたこと (複数回答可)
 - a. 基調講演 17名 (4%)
 - b. 課題発表 11名 (3%)
 - c. 意見交換 108名 (28%)
 - d. スポーツ交流 51名 (13%)
 - e. レクリエーション 48名 (12%)
 - f. 親睦パーティー 86名 (22%)
 - g. 自由時間の交流 63名 (16%)
 - h. その他 7名 (2%)
7. アセアン青年との討論
 - a. 通訳の助けなしに良くできた 14名 (11%)
 - b. 通訳の助けなしにある程度できた 25名 (20%)
 - c. 通訳を介して良くできた 50名 (39%)
 - d. 通訳を介してある程度できた 31名 (24%)
 - e. 通訳不足のためあまり良くできなかった 7名 (6%)
8. 合宿セミナーの中で改善すべき点 (複数回答可)
 - a. プログラムの進行 10名 (4%)
 - b. かみあう話題が少ない 4名 (2%)
 - c. 自分の積極性 38名 (16%)

d. 自分達の語学力 81名 (34%) e. アセアン青年の語学力 33名 (14%) f. 事前情報の不足 41名 (国情について 29名, 青年の経歴 8名など) (17%) g. その他 29名 (きついスケジュール 14名, 日本側の勉強不足 3名, 分科会時間不足 3名, 食事の配慮 3名など) (12%)

9. 合宿セミナーの期間

a. 短い 35名 (28%) b. 適当 87名 (71%) c. 長い 1名 (1%)

10. 合宿セミナーの場所

a. 適当 104名 (86%) b. 不適当 17名 (理由: 食事が偏っている 4名, 部屋が日イ別だった 2名など) (14%)

11. 合宿セミナーの満足度

a. 非常に満足 36名 (29%) b. 概ね満足 69名 (56%) c. 普通 14名 (11%) d. どちらかという不満 3名 (2%)
e. かなり不満 1名 (1%)

12. 合宿セミナーに参加した動機 (複数回答可)

a. 知人の勧め 30名 (11%) b. 団体からの推薦 56名 (21%) c. 友人・知人が一緒 3名 (1%)
d. 参加費が無料 16名 (6%) e. 外国を知り見解を広めたい 52名 (19%) f. アジアに関心が深い 32名 (12%)
g. 交流国に関心が深い 23名 (9%) h. 友人ができる 35名 (13%) i. 信頼できる事業 12名 (5%)
j. その他 3名 (1%)

13. 合宿セミナーに参加して良かったと思うこと (複数回答可)

a. 外国人と友人になった 80名 (18%) b. 歌や踊り, スポーツなどの交流をした 66名 (15%)
c. 自分と同分野の外国人と討論できた 32名 (11%) d. 外国人に日本や日本人を理解してもらえた 28名 (6%)
e. 外国語を聞き話した 44名 (10%) f. アジア諸国の人の考え方がわかった 70名 (16%)
g. 日本や日本人について再認識した 55名 (12%) h. 日本と外国との比較ができた 64名 (14%)
i. その他 3名 (1%)

14. 合宿セミナーに参加しておもうこと (複数回答可)

a. 同種のセミナーに参加したい 78名 (25%) b. 友人に同種のセミナーに参加するよう勧める 67名 (22%)
c. 将来交流国に旅行したい 80名 (26%) d. 将来交流国と関わりのある仕事をもちたい 10名 (3%)
e. アジアの国々への関心をもち続けたい 71名 (23%) f. その他 3名 (政治・社会問題に敏感でありたい2名) (1%)

15. 今回知り合った青年たちとの今後の交流

- a. 予定なし 25名 (16%) b. 1～2度手紙を書く 27名 (18%) c. 継続して手紙を書く 35名 (23%)
d. 機会があったら向こうの国に行って再会したい 66名 (43%) e. その他 1名 (1%)

16. 合宿セミナーの感想

- a. 有意義だった 28名 (28%) b. 日本人の語学力が不足 7名 (7%) c. もっと野外活動を 5名 (5%)
d. インドネシア人はまとまりがある 6名 (6%) e. インドネシアは精神・文化面で日本以上 5名 (5%)
f. 事前研修の大切さを痛感 5名 (5%) g. その他 45名 (45%) (日本人は自国を知らない、問題意識が薄いなど)

合宿セミナー参加青年向けアンケート集計結果

マレーシア

1. 性別： a. 男 59名 (65%) b. 女 24名 (26%) c. 無回答 8名 (9%)
2. 年齢： a. ~20 12名 (13%) b. 21~25 25名 (27%) c. 26~30 32名 (35%) d. 31~35 17名 (19%)
e. 36~ 5名
3. 職業： a. 会社員 19名 (21%) b. 自営業 4名 (4%) c. 公務員 23名 (26%) d. 教員 23名 (26%)
e. 学生 15名 (17%) f. その他 5名 (6%)
4. 国際交流経験
 - a. 外国人と合って話をしたことがある 73名 (36%)
 - b. 同種の合宿セミナー等に参加したことがある 14名 (7%)
 - c. 外国人の友人がいる(いた) 42名 (21%)
 - d. 単なる観光程度の海外旅行経験がある 42名 (21%)
 - e. 現地の人との交流を含む海外旅行経験がある 25名 (12%)
 - f. 子供のころ外国に住んでいた 0名 (0%)
 - g. 留学経験がある 6名 (3%)
 - h. その他居住経験がある 0名 (0%)
 - i. その他 2名 (1%)
5. 現在行ってみたい国 (1人3カ国記入)
 - a. マレーシア 32名 (14%)
 - b. アメリカ 32名 (14%)
 - c. オーストラリア 24名 (11%)
 - d. 中国 22名 (10%)
 - e. カナダ 19名 (8%)
 - f. イギリス 18名 (8%)
 - g. 西ドイツ 11名 (5%)
 - h. フランス 10名 (4%)
 - i. その他 60名 (26%)
6. 合宿セミナーの中で有意義に思われたこと (複数回答可)
 - a. 基調講演 18名 (8%)
 - b. 課題発表 10名 (4%)
 - c. 意見交換 65名 (29%)
 - d. スポーツ交流 34名 (15%)
 - e. レクリエーション 39名 (17%)
 - f. 親睦パーティー 35名 (15%)
 - g. 自由時間の交流 44名 (19%)
 - h. その他 1名 (0.4%)
7. アセアン青年との討論
 - a. 通訳の助けなしに良くできた 6名 (6%)
 - b. 通訳の助けなしにある程度できた 16名 (17%)
 - c. 通訳を介して良くできた 31名 (33%)
 - d. 通訳を介してある程度できた 38名 (41%)
 - e. 通訳不足のためあまり良くできなかった 2名 (2%)
8. 合宿セミナーの中で改善すべき点 (複数回答可)
 - a. プログラムの進行 16名 (9%)
 - b. かみあり話題が少ない 4名 (2%)
 - c. 自分の積極性 26名 (14%)

- d. 自分達の語学力 56名 (30%) e. アセアン青年の語学力 3名 (2%) f. 事前情報の不足 31名 (17%)
 テーマ 13名, マレーシア国事情 7名, マレーシア青年の希望 4名など) g. その他 47名 (26%)
 (きついスケジュール 12名, 事前の打ち合わせと内容が異なる5名など)

9. 合宿セミナーの期間

- a. 短い 20名 (22%) b. 適当 67名 (74%) c. 長い 3名 (3%)

10. 合宿セミナーの場所

- a. 適当 76名 (85%) b. 不適当 13名 (理由: 設備が不十分 3名など)
 (15%)

11. 合宿セミナーの満足度

- a. 非常に満足 17名 (19%) b. 概ね満足 54名 (61%) c. 普通 13名 (15%) d. どちらかという不満 5名 (6%)
 e. かなり不満 0名 (0%)

12. 合宿セミナーに参加した動機 (複数回答可)

- a. 知人の勧め 17名 (10%) b. 団体からの推薦 57名 (33%) c. 友人・知人が一緒 1名 (1%)
 d. 参加費が無料 8名 (5%) e. 外国を知り見解を広めたい 29名 (17%) f. アジアに関心が深い 14名 (8%)
 g. 交流国に関心が深い 10名 (6%) h. 友人ができる 16名 (9%) i. 信頼できる事業 11名 (6%) j. その他
 8名 (業務命令6名, 自分の成長のため2名など)
 (5%)

13. 合宿セミナーに参加して良かったと思うこと (複数回答可)

- a. 外国人と友人になった 63名 (18%) b. 歌や踊り, スポーツなどの交流をした 43名 (12%)
 c. 自分と同分野の外国人と討論できた 37名 (11%) d. 外国人に日本や日本人を理解してもらえた 18
 名 (5%)
 e. 外国語を聞き話した 52名 (15%) f. アジア諸国の人の考え方がわかった 41名 (12%)
 g. 日本や日本人について再認識した 41名 (12%) h. 日本と外国との比較ができた 51名 (15%)
 i. その他
 2名 (1%)

14. 合宿セミナーに参加しておもうこと (複数回答可)

- a. 同種のセミナーに参加したい 56名 (26%) b. 友人に同種のセミナーに参加するよう勧める 45名 (21%)
 c. 将来交流国に旅行したい 57名 (26%) d. 将来交流国と関わりのある仕事をもちたい 8名 (4%)
 e. アジアの国々への関心をもち続けたい 48名 (22%) f. その他 2名 (英語とマレーシア語を習うな
 ど) (1%)

15. 今回知り合った青年たちとの今後の交流

- a. 予定なし 31名 (27%) b. 1～2回程度手紙を書く 18名 (16%) c. 継続して手紙を書く 12名 (10%)
d. 機会があったら向こうの国に行って再会したい 51名 (44%) e. その他 3名 (3%)

16. 合宿セミナーの感想

- a. 有意義だった 23名 (31%) b. マレーシア青年は勉強熱心 13名 (18%) c. マレーシア青年は明るく親しみやすい 7名 (9%)
d. 日本人は語学力不足 6名 (8%) e. 日本人は積極性に乏しい 4名 (5%) f. その他 21名 (28%)
(アジアに目が向いた, マレーシア青年は自国の発展に前向き, など)

合宿セミナー参加青年向けアンケート集計結果

フィリピン

1. 性別： a. 男 51名 (50%) b. 女 50名 (49%) c. 無回答 2名 (2%)
2. 年齢： a. ~20 22名 (22%) b. 21~25 48名 (47%) c. 26~30 16名 (16%) d. 31~35 9名 (9%)
e. 36~ 7名 (7%)
3. 職業： a. 会社員 7名 (7%) b. 自営業 2名 (2%) c. 公務員 3名 (3%) d. 教員 24名 (24%)
e. 学生 58名 (57%) f. その他 8名 (8%)
4. 国際交流経験
 - a. 外国人と合って話をしたことがある 99名 (29%)
 - b. 同種の合宿セミナー等に参加したことがある 32名 (9%)
 - c. 外国人の友人がいる (いた) 82名 (24%)
 - d. 単なる観光程度の海外旅行経験がある 37名 (11%)
 - e. 現地の人との交流を含む海外旅行経験がある 51名 (15%)
 - f. 子供のころ外国に住んでいた 5名 (1%)
 - g. 留学経験がある 12名 (4%)
 - h. その他居住経験がある 12名 (4%)
 - i. その他 8名 (2%)
5. 現在行ってみたい国 (1人3カ国記入)
 - a. フィリピン 39名 (14%)
 - b. アメリカ 28名 (10%)
 - c. 中国 20名 (7%)
 - d. イギリス 17名 (6%)
 - e. オーストラリア 15名 (5%)
 - f. タイ 13名 (5%)
 - g. インド 13名 (5%)
 - h. その他 133名 (48%)
6. 合宿セミナーの中で有意義に思われたこと (複数回答可)
 - a. 基調講演 16名 (5%)
 - b. 課題発表 15名 (5%)
 - c. 意見交換 85名 (27%)
 - d. スポーツ交流 35名 (11%)
 - e. レクリエーション 37名 (12%)
 - f. 親睦パーティー 63名 (20%)
 - g. 自由時間の交流 67名 (21%)
 - h. その他 2名 (1%)
7. アセアン青年との討論
 - a. 通訳の助けなしに良くできた 19名 (19%)
 - b. 通訳の助けなしにある程度できた 35名 (35%)
 - c. 通訳を介して良くできた 17名 (17%)
 - d. 通訳を介してある程度できた 18名 (18%)
 - e. 通訳不足のためあまり良くできなかった 10名 (10%)
8. 合宿セミナーの中で改善すべき点 (複数回答可)
 - a. プログラムの進行 17名 (8%)
 - b. かみあう話題が少ない 5名 (2%)
 - c. 自分の積極性 29名 (13%)

d. 自分達の語学力 65名 (29%) e. アセアン青年の語学力 2名 (1%) f. 事前情報の不足 47名 (国情について 16名, 分科会のテーマ 10名, その他 21名) (21%) g. その他 61名 (基調講演の内容 10名, レクリエーションの貧弱さ 9名, プログラムが多すぎる事 8名など) (27%)

9. 合宿セミナーの期間

a. 短い 34名 (33%) b. 適当 68名 (67%) c. 長い 0名 (0%)

10. 合宿セミナーの場所

a. 適当 70名 (69%) b. 不適当 32名 (理由: 高い7名, 遠い5名, 青年の家・ユースホステルの方がいい4名, その他 16名) (31%)

11. 合宿セミナーの満足度

a. 非常に満足 25名 (25%) b. 概ね満足 53名 (54%) c. 普通 13名 (13%) d. どちらかという不満 8名 (8%)
e. かなり不満 0名 (0%)

12. 合宿セミナーに参加した動機 (複数回答可)

a. 知人の勧め 35名 (10%) b. 団体からの推薦 22名 (6%) c. 友人・知人が一緒 12名 (0.3%)
d. 参加費が無料 34名 (9%) e. 外国を知り見解を広めたい 66名 (18%) f. アジアに関心が深い 59名 (16%)
g. 交流国に関心が深い 47名 (13%) h. 友人ができる 59名 (16%) i. 信頼できる事業 26名 (7%) j. その他 4名 (1%)

13. 合宿セミナーに参加して良かったと思うこと (複数回答可)

a. 外国人と友人になった 78名 (20%) b. 歌や踊り, スポーツなどの交流をした 43名 (11%)
c. 自分と同分野の外国人と討論できた 32名 (8%) d. 外国人に日本や日本人を理解してもらえた 30名 (8%)
e. 外国語を聞き話した 46名 (12%) f. アジア諸国の人の考え方がわかった 57名 (14%)
g. 日本や日本人について再認識した 51名 (13%) h. 日本と外国との比較ができた 57名 (14%) i. その他 4名 (1%)

14. 合宿セミナーに参加しておもうこと (複数回答可)

a. 同種のセミナーに参加したい 76名 (24%) b. 友人に同種のセミナーに参加するよう勧める 55名 (17%)
c. 将来交流国に旅行したい 68名 (21%) d. 将来交流国と関わりのある仕事を持ちたい 33名 (10%)
e. アジアの国々への関心をもち続けたい 82名 (26%) f. その他 6名 (英語の必要性を感じた4名など) (2%)

15. 今回知り合った青年たちとの今後の交流

- a. 予定なし 16名 (12%) b. 1～2回程度手紙を書く 10名 (7%) c. 継続して手紙を書く 36名 (27%)
d. 機会があったら向こうの国に行って再会したい 71名 (53%) e. その他 1名 (1%)

16. 合宿セミナーの感想

- a. 有意義だった 23名 (24%) b. 継続してほしい 10名 (11%) c. その他 62名 (65%)
(形式的だ、英語教員以外の参加を望む、日本人はもっと積極的になるべきだ、自分が日本について知らないことを再認識した、など)

合宿セミナー参加青年向けアンケート集計結果

シンガポール

1. 性別：a. 男 67名 (51%) b. 女 61名 (47%) c. 無回答 3名 (2%)
2. 年齢：a. ~20 16名 (12%) b. 21~25 62名 (47%) c. 26~30 46名 (35%) d. 31~35 7名 (5%)
e. 36~ 0名 (0%)
3. 職業：a. 会社員 17名 (13%) b. 自営業 2名 (2%) c. 公務員 40名 (31%) d. 教員 14名 (11%)
e. 学生 43名 (33%) f. その他 14名 (11%)
4. 国際交流経験（複数回答可）
a. 外国人と合って話をしたことがある 115名 (28%) b. 同種の合宿セミナー等に参加したことがある 34名 (8%)
c. 外国人の友人がいる（いた） 87名 (21%) d. 単なる観光程度の海外旅行経験がある 76名 (18%)
e. 現地の人との交流を含む海外旅行経験がある 61名 (15%) f. 子供のころ外国に住んでいた 6名 (1%)
g. 留学経験がある 19名 (5%) h. その他居住経験がある 9名 (2%) i. その他 7名 (2%)
5. 現在行ってみたい国（1人3カ国記入）
a. シンガポール 47名 (14%) b. アメリカ 42名 (13%) c. 中国 25名 (6%) d. オーストラリア 19名 (6%)
e. フランス 18名 (5%) f. フィリピン 16名 (5%) g. 西ドイツ 15名 (5%) h. その他 150名 (45%)
6. 合宿セミナーの中で有意義に思われたこと（複数回答可）
a. 基調講演 35名 (8%) b. 課題発表 35名 (8%) c. 意見交換 108名 (23%) d. スポーツ交流 31名 (7%)
e. レクリエーション 74名 (16%) f. 親睦パーティー 88名 (19%) g. 自由時間の交流 92名 (20%)
7. アセアン青年との討論
a. 通訳の助けなしに良くできた 29名 (23%) b. 通訳の助けなしにある程度できた 55名 (43%)
c. 通訳を介して良くできた 17名 (13%) d. 通訳を介してある程度できた 16名 (13%)
e. 通訳不足のためあまり良くできなかった 10名 (8%)
8. 合宿セミナーの中で改善すべき点（複数回答可）
a. プログラムの進行 6名 (3%) b. かみあう話題が少ない 9名 (4%) c. 自分の積極性 27名 (13%)
d. 自分達の語学力 84名 (41%) e. アセアン青年の語学力 2名 (1%) f. 事前情報の不足 29名 (14%) (国情に)

ついて 16名など) g. その他 49名 (自由時間がすくない5名, 討論における通訳の役割のあいまいさ 4名) (24%)

9. 合宿セミナーの期間

a. 短い 47名 (36%) b. 適当 84名 (64%) c. 長い 0名 (0%)

10. 合宿セミナーの場所

a. 適当 107名 (84%) b. 不適当 20名 (理由: 遠すぎる 7名, レクリエーションのペースがない 3名) (16%)

11. 合宿セミナーの満足度

a. 非常に満足 54名 (42%) b. 概ね満足 57名 (44%) c. 普通 16名 (12%) d. どちらかという不満 2名 (2%)
e. かなり不満 0名

12. 合宿セミナーに参加した動機 (複数回答可)

a. 知人の勧め 50名 (13%) b. 団体からの推薦 40名 (10%) c. 友人・知人が一緒 1名 (0.2%)
d. 参加費が無料 44名 (11%) e. 外国を知り見解を広めたい 77名 (19%) f. アジアに関心が深い 52名 (13%)
g. 交流国に関心が深い 42名 (11%) h. 友人ができる 61名 (15%) i. 信頼できる事業 23名 (6%)
j. その他 9名 (2%)

13. 合宿セミナーに参加して良かったと思うこと (複数回答可)

a. 外国人と友人になった 93名 (18%) b. 歌や踊り, スポーツなどの交流をした 53名 (10%)
c. 自分と同分野の外国人と討論できた 51名 (10%) d. 外国人に日本や日本人を理解してもらえた 38名 (7%)
e. 外国語を聞き話した 56名 (11%) f. アジア諸国の人の考え方がわかった 79名 (15%) g. 日本や日本人について再認識した 64名 (12%) h. 日本と外国との比較ができた 74名 (14%) i. その他 17名 (3%)

14. 合宿セミナーに参加しておもうこと (複数回答可)

a. 同種のセミナーに参加したい 94名 (23%) b. 友人に同種のセミナーに参加するよう勧める 78名 (19%)
c. 将来交流国に旅行したい 90名 (22%) d. 将来交流国と関わりのある仕事をもちたい 45名 (11%)
e. アジアの国々への関心をもち続けたい 93名 (22%) f. その他 7名 (2%)

15. 今回知り合った青年たちとの今後の交流

a. 予定なし 23名 (13%) b. 1~2回程度手紙を書く 22名 (13%) c. 継続して手紙を書く 40名 (23%)
d. 機会があったら向こうの国に行って再会したい 87名 (50%) e. その他 2名 (1%)

16. 合宿セミナーの感想

- a. 有意義だった 22名 (26%) b. 交流が深まった 7名 (8%) c. 刺激になった 6名 (7%)
d. 企画の運営が良い 4名 (5%) e. シンガポール青年を身近に感じる 3名 (4%)
f. その他 43名 (日本人は積極性に欠ける, 日本人は意見を言うのが苦手など) (51%)

合宿セミナー参加青年向けアンケート集計結果

タ イ

1. 性別： a. 男 44名 (66%) b. 女 19名 (28%) c. 無回答 4名 (6%)
2. 年齢： a. ~20 13名 (20%) b. 21~25 39名 (59%) c. 26~30 12名 (18%) d. 31~35 1名 (2%)
e. 36~ 1名 (2%)
3. 職業： a. 会社員 12名 (18%) b. 自営業 12名 (18%) c. 公務員 3名 (4%) d. 教員 1名 (1%)
e. 学生 39名 (57%) f. その他 1名 (1%)
4. 国際交流経験（複数回答可）
a. 外国人と会って話をしたことがある 45名 (27%) b. 同種の合宿セミナー等に参加したことがある 16名 (10%)
c. 外国人の友人がいる（いた） 37名 (22%) d. 単なる観光程度の感慨旅行経験がある 26名 (16%)
e. 現地の人との交流を含む海外旅行経験がある 28名 (17%) f. 子供のころ外国に住んでいた 6名 (4%)
g. 留学経験がある 3名 (2%) h. その他居住経験がある 1名 (1%) i. その他 3名 (2%)
5. 現在行ってみたい国（1人3カ国記入）
a. タイ 39名 (16%) b. アメリカ 27名 (11%) c. 中国 15名 (6%) d. オーストラリア 14名 (6%)
e. イギリス 10名 (4%) f. フランス 72名 (29%) g. カナダ 6名 (2%) h. スイス 6名 (2%) i. その他 58名 (23%)
6. 合宿セミナーの中で有意義に思われたこと（複数回答可）
a. 基調講演 7名 (3%) b. 課題発表 21名 (9%) c. 意見交換 59名 (24%) d. スポーツ交流 26名 (11%)
e. レクリエーション 34名 (14%) f. 親睦パーティー 49名 (20%) g. 自由時間の交流 42名 (17%)
h. その他 4名 (2%)
7. アセアン青年との討論
a. 通訳の助けなしに良くできた 12名 (18%) b. 通訳の助けなしにある程度できた 29名 (43%)
c. 通訳を介して良くできた 9名 (19%) d. 通訳を介してある程度できた 14名 (21%) e. 通訳不足のためあまり良くできなかった 4名 (6%)

8. 合宿セミナーの中で改善すべき点（複数回答可）

- a. プログラムの進行 5名 (4%) b. 余りある話題が少ない 0名 c. 自分の積極性 10名 (9%)
d. 自分達の語学力 43名 (37%) e. アセアン青年の語学力 9名 (8%) f. 事前情報の不足 18名 (16%) (国情について 11名, 選考から合宿セミナーまでの期間が短い5名など) g. その他 30名 (26%) (きついスケジュール 12名, レクリエーションが少ない 2名など)

9. 合宿セミナーの期間

- a. 短い 29名 (44%) b. 適当 37名 (56%) c. 長い 0名 (0%)

10. 合宿セミナーの場所

- a. 適当 53名 (84%) b. 不適当 10名 (16%) (理由: 町から遠い5名, ホテルにかんづめ3名など)

11. 合宿セミナーの満足度

- a. 非常に満足 27名 (40%) b. 概ね満足 31名 (46%) c. 普通 6名 (9%) d. どちらかという不満 3名 (4%)
e. かなり不満 0名 (0%)

12. 合宿セミナーに参加した動機（複数回答可）

- a. 知人の勧め 34名 (16%) b. 団体からの推薦 17名 (8%) c. 友人・知人が一緒 11名 (5%)
d. 参加費が無料 20名 (10%) e. 外国を知り見解を広めたい 34名 (16%) f. アジアに関心が深い 31名 (15%)
g. 交流国に関心が深い 22名 (11%) h. 友人ができる 25名 (12%) i. 信頼できる事業 12名 (6%) j. その他 1名 (0.4%)

13. 合宿セミナーに参加して良かったと思うこと（複数回答可）

- a. 外国人と友人になった 49名 (19%) b. 歌や踊り, スポーツなどの交流をした 37名 (14%)
c. 自分と同分野の外国人と討論できた 25名 (10%) d. 外国人に日本や日本人を理解してもらえた 24名 (9%)
e. 外国語を聞き話した 21名 (8%) f. アジア諸国の人の考え方がわかった 40名 (15%)
g. 日本や日本人について再認識した 30名 (11%) h. 日本と外国との比較ができた 35名 (13%) i. その他 1名 (0.3%)

14. 合宿セミナーに参加しておもうこと（複数回答可）

- a. 同種のセミナーに参加したい 50名 (26%) b. 友人に同種のセミナーに参加するよう勧める 39名 (20%)
c. 将来交流国に旅行したい 47名 (24%) d. 将来交流国と関わりのある仕事を持ちたい 15名 (7%)
e. アジアの国々への関心をもち続けたい 41名 (21%) f. その他 1名 (1%) (語学力をつけたい)

15. 今回知り合った青年たちとの今後の交流

- a. 予定なし 13名 (14%) b. 1～2回程度手紙を書く 8名 (9%) c. 継続して手紙を書く 24名 (26%)
d. 機会があったら向こうの国に行って再会したい 48名 (52%) e. その他 0名 (0%)

16. 合宿セミナーの感想

- a. 有意義だった 7名 (27%) b. 言葉が通じなくても強く感じるものがあった 3名 (12%)
d. 在タイ日系企業の実態を知り残念だった 2名 (8%) e. タイ青年の労働意欲の高さに感心 2名 (8%)
f. タイ青年の明るく素直, 友好的 2名 (8%) g. その他 10名 (38%)

JICA